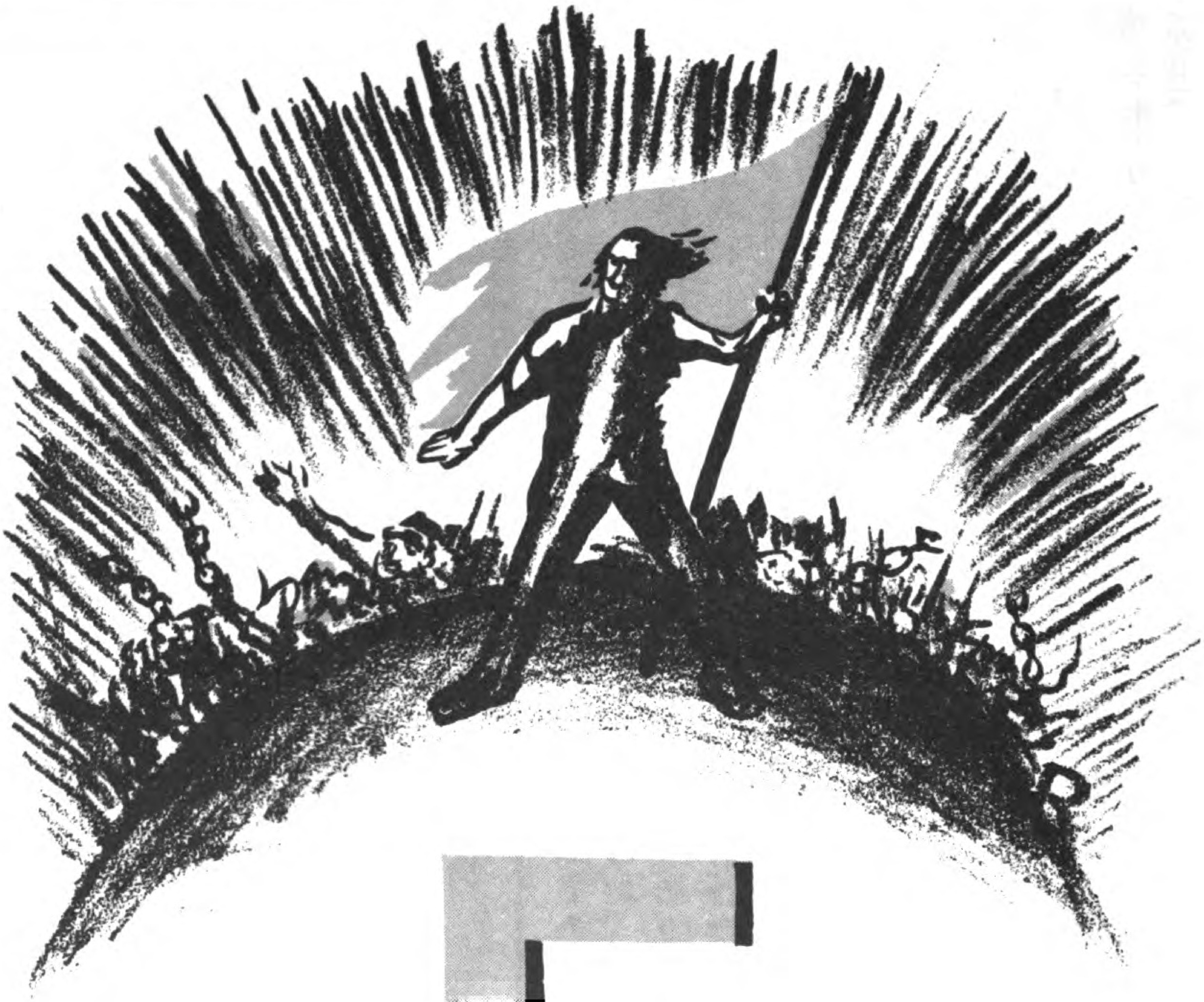
無産階級評論雑誌

大衆

大正十五年四月二十四日第三種郵便物認可
昭和二年四月二十八日印刷　昭和二年五月一日發行（毎月一回一日發行）



5

VOL. 2　NO. 4

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

マルキシズム叢書八

反デューリング論

河野密・林要共譯（エンゲルス著）

定價貳圓五拾錢
送料拾八錢
四六版假綴
約六百頁

本書はエンゲルスの主著で、資本論と共にマルキシズムの基礎的文献であるが、從來何人も之が全譯を企てなかつた。茲に公にするのが日本では最初の譯本だが、同時にそれは永く定譯本とならうと信ぜらるゝ程度に、譯者の責任が嚴密に果されて居り、難解の個所には補註をも加へてある。もと本書は、社會主義をアカデミックな、骨抜きなものに改造しようとした處のサロン・ソーシャリストの雄デューリングに對する挑戰狀として書かれたものだがその重要性は當時も今と變らない。蓋し俗學的ではあるが極めて博學なデューリングを論駁する爲には、エンゲルス自身、辯證法、經濟學、社會主義等に亘る廣汎な領域について其見解を展開せねばならなかつたし、從つてマルキシズムに關する基礎的な諸問題が内的聯絡において取扱はれねばならなかつたからである。

近刊マルキシズム叢書

- 唯物辯證法抜萃（原文對照）　經濟學批判會編（印刷中）
- 唯物辯證法と自然科學（デボーリン）　大山一郎譯（印刷中）
- 農民問題（マルクス・エンゲルス）　村山藤四郎・黒田久太共譯
- 改訂 ゴータ綱領批判（マルクス）　水谷長三郎譯
- 金利生活者の經濟學（ブハリン）　猪俣津南雄譯

弘文堂書房

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一七〇五番

東京市神田區淡路町二　振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二卷　大衆　第四號

◇太平洋勞働會議とメーデー……（二）

◇ドイツに於ける大衆動員の方法……レンメレ（四）

◇極左的組織理論の一典型……澤野俊雄（一三）

◇鐵道從業員組合の危機は如何にして到來したか……松岡一雄（二七）

◇日本農民組合の反移植民運動……守田道輔（三七）

◇理論なき「現段階論」……成瀨光雄（四三）

◇右翼の展開と資本主義の安定……薄茂人（五五）

◇ヨット斷頭臺（スケッチ）……田口運藏（六八）

◇李大釗と陳玉秀……（六六）

◇左翼勞働組合の基調……中澤篤（三）

◇資本主義安定の諸問題（三）（調査）……（七三）

◇國內戰線……（七六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

太平洋勞働會議とメーデー

今、世界の焦點は、支那を中心として動きつゝある。

支那は、帝國主義的資本主義に、たゞ一つ殘された最後の市場である。沒落の過程に突入したる世界資本主義の餘命の長短は、この支那市場の料理如何にかゝつてゐる。然してまた、同時に世界資本主義の崩壞は、その最初の決潰の場所としてこの支那を選んでゐる。即ち、世界資本主義の最後の希望が、支那を唯一の頼みとしてつながれてあると同時にまた、この崩壞の場所として支那は、プロレタリア革命に向つて急進しつゝある。

この時に當り、世界のプロレタリアートの前衛は、支那革命の搖籃地廣東に於て、五月一日を期して、反帝國主義とインターナショナリズムの旗の下に、一大デモンストレーションを行はんとしてゐる。かゝる時に、かゝる場所に於ける、一九二七年のメーデーと、太平洋勞働會議の開催とは、われ等に深甚な注意と希望とを感知せしむる。

支那に於ける、支那プロレタリアートの革命運動は異常なる進展をとげた。

軍閥打破、反帝國主義の國民革命運動は、今や無産階級××へと轉換した。それは××した組織的勞働者の團體に、その指導的勢力が推移したことによつて知ることが出來る。

このことは、支那を最後の母と頼んだ、世界資本主義諸國にとつては、致命的の創痍でなくてなんであらう。

資本主義諸帝國は、一方に於ては彼等の最後の餌を、わがものとせんがために、あらゆる術數と秘策を

もちひて互に相爭ひ、かくて第二の世界戰爭の用意をとゝのへつゝある。だが彼等は、彼等の獲物を見捨てはしない。彼等は、彼等相互に相爭ふと同時に、大砲と軍艦とをつきつけて支那のプロレタリア革命を威嚇しつゝある。

支那革命運動の成否は、世界のプロレタリア解放運動の成否の如何にまで關聯する。世界資本主義の第二の一環(第一環はソビエットロシャでたち切られた)を打破せんとしつゝある支那プロレタリアートの鬪ひを援助することは、萬國プロレタリアートの義務であり責任である。

『先進諸國のプロレタリアートの積極的支持なく、このプロレタリアートの自國の帝國主義に對する鬪爭なき××的協同戰線は望みなきものである。これは、民族問題に於けるレーニン主義の核心であり、同時にまた、支那革命の勝利を確保する一個の主要條件である。』(譚平山)

そしてまた、かつてレーニンは言つた。

『……××帝國主義を倒さなければ、東洋に於ける如何なる民族運動も、それは單に地方的騷擾に終るであらう』

と、この一語、よくわが國プロレタリアートの歴史的使命を物語つてゐるのである。

一九二一年ブルジョア諸國が第一次軍縮會議の名をかたつて、第二世界戰爭の用意のためにワシントンに集合した時に、極東の××的諸勢力は、『極東民族大會』をモスコーに開催してこれに抗議した。今また、第二次軍縮會議が日、英、米の三國によつて招集されんとする時に、世界プロレタリアートの太平洋勞働會議が開催されたのである。全世界のプロレタリアートの前衛は、これに各代表者を送つて第二次世界戰爭の防止と、世界プロレタリア解放運動と戰線の統一を議してゐる。

この日、われ等のメーデーに、われ等はわれ等の全勢力を動員して、徹底的に××帝國主義に肉迫し、隣邦のプロレタリアートに聲援すると同時に、インターナショナリズムへと進出すべきである。

かくてこそ、一九二七年のメーデーはわれ等に意義を殘すであらう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ドイツに於ける大衆動員の方法

レンメレ

——吾々は平時に於ける大衆動員は單なるスローガンだけで成功するものではないと云ふことを學ばねばならぬ——

第七回擴大執行委員會で、共産黨インタナショナル各國支部の仕事を批判したときに、二三の國支部で成功してゐるこ見られた、プロレタリアート大衆動員の方法は、他の支部でも研究し利用すべきであると云ふ要求が高まつた。これが此の方法を述べて、一般の判斷にまかせる理由であつた。

以下、コンミンタンのドイツ支部の、この範圍での成果について述べる。結局は、同志レニン自身が完成して居る樣なレニン主義の方法に外ならぬもの、即ち統一戰線の戰術のレニン主義的適用が問題である。コンミンタンのごの支部に於ても、ドイツ共産黨に於ける程には、統一戰線の戰術の應用が、やかましい問題であつたことがない。黨の成立以來理論的鬪爭に於てばかりでなく、實際の日常の仕事に於ても、日常政策の是否は、殆んご全く一に此の問題に懸つてゐた。餘程以前に此の問題は、その理論的討究の域を脱して、黨の政策の實際に這入つた。我々はこの實踐を三つの時期に分ける。

1. 統一戰線の戰術の日和見主義的適用、これは一般にブランドラー主義の政策こ云はれて居るもので、黨の中では第

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三世界大會から一九二三年十月まで優勢であつた。

2. 一九二五年九月の公開狀に至るまで、一九二四年二月のフランクフルトの黨大會の極左翼指導による統一戰線戰術の否定的にして且つ「曝露」のみに限る適用

3. 意味通りに第三世界大會によつて決議され、第四及び第五世界大會によつて更に確證され、ブランドラー主義と極左翼的無効果とを脫却して、現在の成功に致した所の統一戰線戰術の適用

ブランドラー主義にあつては、統一戰線は社會民主黨との野合政策であつた。マスロフ、ルート・フヰツシャーの極左翼的指導の下に於ては、それを專ら社會民主黨に關する曝露戰術として適用することを試みたが、公開狀の後では、主として××××的合言葉の下に勞働者大衆を動員する政策として適用され、この際如何に社會民主黨が自らをブルジョアー政黨として曝露するかゞ示めされる。それ故に今日ドイツの黨の政策に於ては、統一戰線戰術は、社會民主黨との聯合政策或は、只全く社會民主黨に對する曝露戰術として理解されず、適用の主なる精神は、專ら最大の、××的大衆動員である。この際、偶然に、そして一時社會民主黨と聯合を結ぶか否か、又如何に社會民主黨が、一切の行動の經過に於て自ら曝露するかと云ふ問題は、副次的の性質の問題であつて、全くこのブルジョアジー社會民主黨の意向如何によるものである。

コシミンタンの第七回擴大執行委員會がブランドラー及びタルハイマーに關する第五回擴大執行委員會の懲戒決議の取消の必要に際して、もう一度原理的にブランドラー主義的政策を排除し、更に、この新しき政策を判決し、しかも尙公然バリケードの向側に立つた黨のマスロフ、ルート・フヰツシャー及びその一黨の極左翼的政策を、尙餘計に嚴格に判決しなければならなかつたと云ふことは、今の政策の正當を確證するに非常に意味がある。この本論文の狹い範圍の中では、統一戰線の適用に於ける此の三つの相異なれる根本的、政治的傾向の原則的相違に深入りするの餘白がない。それ故に一般的の決定で滿足しなければならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コンミンタンの現在の指導は、十五ヶ月間の仕事に於て、レーニン主義的政策と戰略との正しいことを證さずにはおかなかつた。

それは當時完全に破產して、ドイツに於ける××主義の勢力を零にまで下らして了つた、マスロフ、ルート・フキシャーの極左翼的政策に非常な方向轉換を與へねばならなかつた。ドイツの勞働階級の左翼化、及びドイツのファッシズムに關する論文の中で、我々はマスロフ、ルート・フキッシャーの下に於ける××黨の勢力の沒落を、數字によつて說明し、同時に又新なる黨の指導の下での勢力增大の傾向を示して居る。今新しい指導の下に於ける統一戰線の特殊な形式、及び方法を說明することが我々の問題である。

先づ組織の形態をあげる。こゝでは統一戰線の組織が最も重要である。かゝるものとしてはドイツでは次ぎのようなものがある。即ち、

1. 赤色前衛鬪士團
2. 赤色青年團
3. 赤色婦人處女團
4. 赤色救援會
5. 國際勞働者救援會
6. 勞働從事者(ウエルクテーテイゲン)全國委員會
7. 失業者全國委員會

尚又一時的の問題の爲の統一戰線組織、例へば、ドイツ王室財產沒收戰遂行の爲の、クチンスキー委員會などもこれに屬する。

赤色前衛鬪士團は、元來軍隊的政治的組織としての王政主義的ファシズム的戰鬪團及び、共和主義的國旗團(ライヒスバナー)に對する×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

×的プロレタリアートの對抗組織として創立された。對抗組織としてのこの任務に應じて、赤色前衞鬪士團は、元來軍隊的に組織されて居た。併し政治問題に益々深く關係するに從ひ、プロレタリアートの政治的日常鬪爭の任務に深く突き進んで行くに從ひ、この團體は益々勞働者階級の××的部分の全範圍を自身に吸收する組織となり、かくて程なく、それは最も眞實の意味に於ける××的勞働階級の一つの統一戰線組織となつた。今日赤色前衞鬪士團に算せられる十八萬の團員の三分の一は××主義者である。××主義者の外赤色前衞鬪士團の中には、澤山の社會民主々義者があり、又大多數の大衆は、政黨に屬さぬ勞働者である。赤色前衞鬪士團は今日黨の範圍と組織的基礎とを遙かに越えて居る。これまで、黨が自分の組織を設けることに成功しなかつた數百の場所に、赤色前衞鬪士團の組織がある。××主義者の勢力及び赤色前衞鬪士團の政策と××黨との政策との一致は、××主義者の確固たるフラクションの仕事によつて確保されてをり、未だに赤色前衞鬪士團がその實際的活動に黨と對立するに至つた場合を知らない。

赤色青年團は赤色前衞鬪士團の分科として赤色前衞鬪士の青年の組織である。やつと數ヶ月前にその基礎を置いたに過ぎないのに、今日すでに二萬五千の團員を數へる。赤色婦人處女團は赤色前衞鬪士團から出たものである。元來は、赤色前衞鬪士團の隊列の中に婦人も處女も居た。これの集團が益々強くなるに及んで、それは、別の名稱赤色婦人處女團の下に統一的な全國的組織に團結した。この團體の發達も、赤色前衞鬪士團の發達と全く同樣に、軍隊的組織から政治的任務を持つた組織へと進んだ。

赤色前衞鬪士團も、赤色青年團も、赤色婦人處女團も、夫々每週大部數出る團體機關紙を發行して居る。赤色前衞鬪士團の機關紙は一版三十萬部、赤色婦人處女團の機關紙は一版三萬部出る。

赤色救援會、國際勞働者救援會はコンミンタンの中では十分に知られて居るから說明はするまでもない。

これに反して勞働從事者全國委員會は新に現れたものであつて、數週間前に初めて勞働從事者會議で作られ、勞働に從事する人民大衆の一切の大なる大衆的行動の集中的統一の任務を持つて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國失業者委員會も同樣であるが、これは失業者の常備軍を、失業者の特殊利益の爲の共同の鬪爭に集中し、指揮する特殊任務を持つて居る。

新なる黨指導部の活動してからの、最も重要な統一戰線の戰ひは、主として次の樣なものである。即ち、

1. 一九二五年十一月の伯林市會議員選擧戰
2. 伯林市會議員選擧に續いて行はれた州——地方議會選擧戰
3. ザツクセン政策を變更して、ザツクセン政府に反對した事は、ザツクセンの獨逸社會民主黨の分裂を導いた。
4. 中央政府及び地方政府に於ける大聯合ブルジョア黨に社會民主黨の參加すると云ふ、社會民主黨のハイデルベルヒ黨大會決議に反對する戰ひ——一九二五年十二月及び一九二六年一月に、大聯合を社會民主黨幹部が贊成議決したが、黨員大會及び全國委員會によつて否決されて、黨幹部の敗北に到つた
5. チユーリンゲンのファツシストの武裝に反對する統一戰線の戰——こゝでは勞働組合及び社會民主黨との統一委員會を作るに到つた
6. ドイツ王室財產無償沒收の爲の八ヶ月間の大戰鬪
7. 赤色前衞鬪士團の全國大會(一九二六年ピングステン)
8. ソヴエート、ロシアへの第二回勞働者代表派遣の組織、及び勞働者代表の旅行に續いての統一委員會の組織と擴張
9. ザツクセン及びバーデンの地方議會選擧及び町村會議員選擧
10. 勞働從事者會議の組織、及びその遂行の爲の戰

伯林市議選擧の鬪爭により、伯林に於て市會に社會民主黨、××黨が多數を占めた。××黨のフラクションの任務は、大都市の勞働者大衆の生活利害を見てとつて、社會民主黨に××主義者と共に、勞働階級及び貧困の小ブルジョアーに利益を認めるか、又はブルジョアー政黨と共に資本主義的政策を行ふか、何れかに決定することを迫まることにあつた。社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

會民主黨は多くの場合に後者を選んだ。これが最も明白に現れたのは市參事會の選擧に於て、社會民主黨は、ブルジョアーと一緒になつて市參事會の中で、ブルジョアー政黨が確實に多數を占めるようにさせたことである。

今伯林では、市會では社會民主主義者、××主義者が多數であるが、市參事會では全々ブルジョアーが多數である樣な具合になつて居る。社會民主主義者は、自分の此の政策の爲に數千の黨員を犧牲にしたが、この政策は勞働階級の中に發展しつゝある左翼化の過程を早め且つ强めた。

同じ過程が地方の州及び郡議會にも行はれた。

ザックセン議會に於ける我が政策の變更は、社會民主黨の勞働者を動員して、內閣中の彼等の右翼指導者の政策に反對せしめ、議會の左翼社會民主主義者をして、自分の黨の同志に對してきわめて銳い對立に立たざるを得ざるに至らしめた。この過程は、遂にザックセンの社會民主黨の分裂に進み、こゝに於ても亦、社會民主黨の勞働者の中の左翼化の過程を全く非常に早めた。

一九二五年の八月、社會民主黨のハイデルベルヒ黨大會は大多數を以つて、原則的に、社會民主黨は國及び地方政府に於て、王黨及び大資本家黨に至るまでの大聯合に參加することを決議した。この決議に對する我々の鬪爭により、遂に一九二五年十二月、政府の危機に際してこの決議を適用すべかりしとき、それは遂行され得なかつた。

チユリンゲンのファシストの襲擊に對する統一戰線の戰ひは、同樣に社會民主黨內部に激しい衝突を惹起した。地方の社會民主黨の組織と勞働組合とが、統一委員會で一緒になつて以來、社會民主黨の黨幹部は、地方の組織にあてゝ統一委員會に屬する黨員を、黨から除名すると云ふ黨幹部の決議は、若し實行すると最早黨組織の多くはなくなるから、實行することが出來ないと云ふ白狀をした內部的の回狀を發した。

最重要にして最大の鬪爭は、王室財產無償沒收の爲の鬪爭であつた。この鬪爭に於て、社會民主黨は黨員の壓力の下に、自身の以前の決議に反して××主義者に從はざるを得ず、度々降服せざるを得なかつた。鬪爭は一九二五年十二月に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

始まつた。一ケ月の宣傳的準備の後、一月には人民の請願の實際の遂行に移つた。全ブルジョアー政黨、及びその中でも社會民主黨は××主義者の要求を拒絶した。併し、第一回の署名集めにノイケルンの全民衆が、所屬する黨の如何に關せず參加するや、初めて人民投票の實行不可能を證明せんと試みた社會民主黨は、此のときやつと、××黨の人民投票と並んで、社會民主黨の指導する人民投票を實行する積りであると宣言した。併し社會民主黨員に對する此の鎭靜藥は、丁度反對の作用を起した。黨員會議に於て勞働者は、黨の指導者が運動を分裂させる者であることを欲せぬならば、××主義者の鬪爭に參加しなければならぬと云ふ要求をした。その後二月に召集された社會民主黨の全國委員會は、勞働組合總同盟を仲介として、××黨の中央委員會及び社會民主黨の中央幹部との共同會議を、王室財産沒收に對する共同鬪爭遂行の目的で開かなければならない。2.社會民主黨は、××主義者によつて旣に始められた鬪爭に參加しなければならない、と云ふことを決議した。

三月中旬に行はれた人民請願は、人民投票の爲の法律が政府によつて決する場合には、四百萬の署名が必要であつた。しかるに、人民請願の結果は四百萬の署名ではなくて一千二百五十萬の署名があつた。六月二十日の人民投票では、王室財産沒收に贊成する××黨側の法案は約一千五百萬の投票を得た。

この鬪爭は××黨が記錄しなければならない、最大の大衆動員であつたと云ふことを繰返へして云はねばならない。この大衆動員はあらゆる政黨の崩壞をもたらし、最右翼の王黨に至るまでの選擧人が、××黨の行動に參加したことを數字で證明することが出來た。最近の全國的選擧(ヒンデンブルグ選擧)に於て、百八十萬の投票きり得なかつた、十六萬人で組織されたドイツ××黨は、このときには一千五百萬の大軍を指導した。この行動によつて黨は、すべての以前の選擧運動以上に、一切の經濟的社會的政治的問題を、最も廣汎なる人々の前に、全幅に於て展開し、又津々浦々に至るまで××的宣傳を持込むことが出來た。

この行動は、一九二六年伯林の赤色前衛鬪士團大示威運動によつて有効に支持されたが、この時には、全國から集つた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

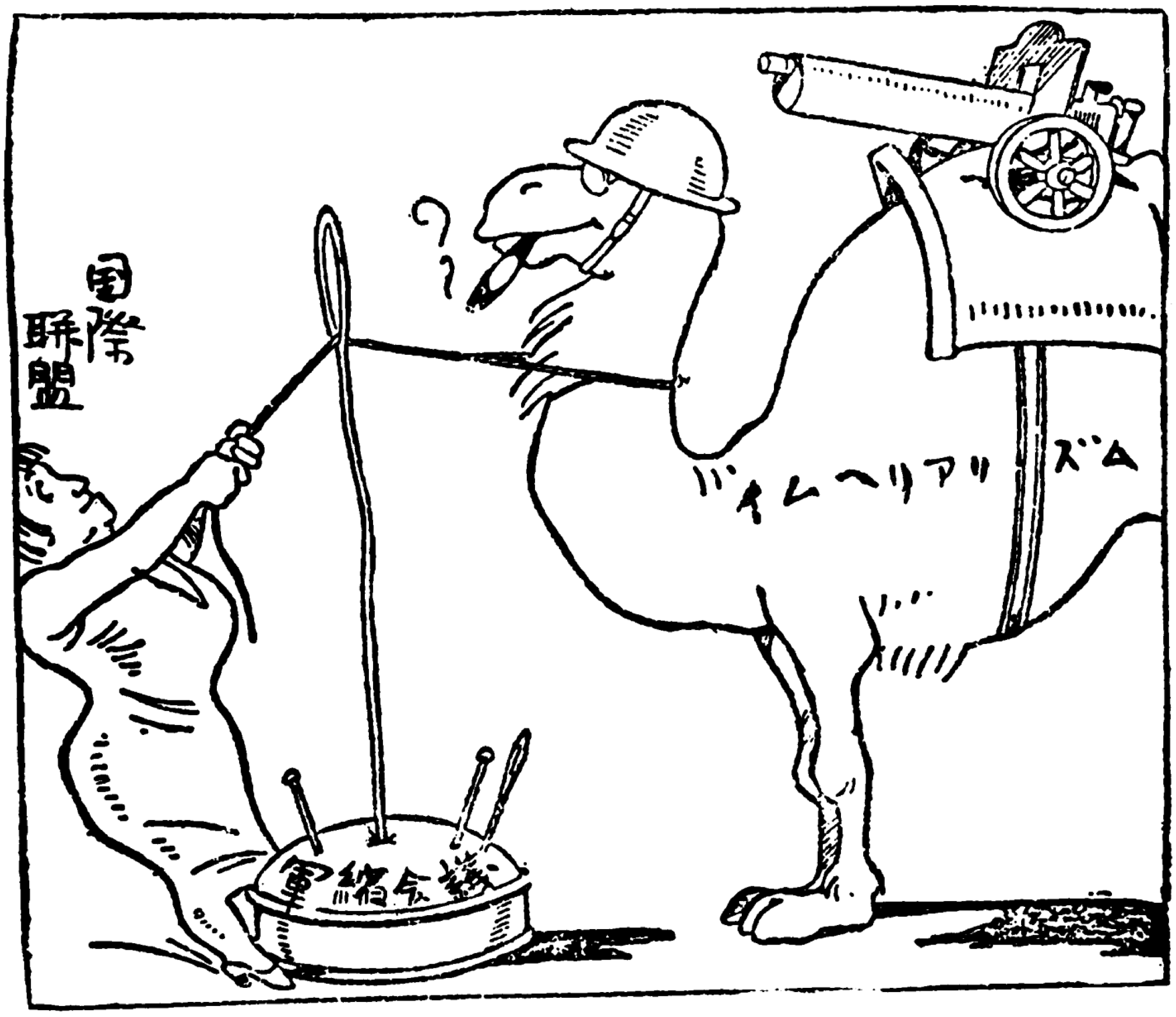
八萬の制服をつけた赤色前衛鬪士團員と、ベルリンの周圍からの二十五萬の勞働者こが、都の街道を示威運動をして歩いた。未曾有の參加者を示した全國都市の多數の示威運動及び大集會は、最も廣汎に渡る勞働大衆を殘りなく獲得したこ云ふ證據を示めした。示威運動には約百二十五萬の勞働者が參加した。

人民投票の遂行で、黨は大衆の動員を打切らずに、鬪爭を、運動に加つた人民の大衆を組織的に獲得することにまで繼續した。運動による此の大衆動員の組織的効果は、一九二六年十二月一日から五日までの勞働從事者(ウエルクテイテンゲン)會議とその遂行に現れた。この會議に前後して、副次的の鬪爭の一系列――失業者全國會議、小農、小作人全國代表者會議、借家人保護の全國協議會、及び他の多くの特殊協議會――が行はれた。勞働從事者の會議には、平均四千――五千の勞働者或は他の職業者層を代表した、千九百五十六人の代表者が出席した。數百の代表者等は大會の幹事に、自分は出ることが出來ない、若し出れば失業するだらうからとか、或は又除名をもつて嚇す社會民主黨幹部の壓力の爲に、缺席するを許してくれと報告した。この會議の構成は、失業者代表五百五十人、大工場の代表四百二十人、地方の勞働組合及び地方委員會の代表二百十人、小農の代表八十人、統一委員會の代表六十人、スポーツ團體並びに赤化團體の代表八十人、借家人同盟の代表七十人、中間階級、小商人、獨立の營業者の代表者百四十人、自由職業者、醫者、辯護士、著述家、美術家の組織及び、最後に自由思想家團代表者數人である。會議の政黨別の組成は六百八十人の政黨に屬さぬもの、六百五十人の××黨員、百七十人の社會民主黨員、十六人の獨立社會民主黨員、(社會民主黨こ獨立社會民主黨こは會議に參加したら除名するこ黨員を嚇した)十五人の社會主義者同盟の代表者、九名のクリスト教社會黨員(中央黨)五人の民主黨員、四人の他の政黨員――この中には獨逸國民商店員同盟の代表二人――である。この構成を見れば八百萬乃至千萬の勞働從事者を代表するこの會議は、資本主義制度に對立する鬪爭に一切の勞働從事者を眞に綜合して居ることが分かる。會議の決議は完全に滿場一致で決せられ、勞働大衆は會議の開催に對する檄に追從したばかりでなく、大衆には、來るべき經濟的政治的鬪爭に於ける××主義者の合言葉に從ふ用意が出來て居るこ云ふ證據を示した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

この記述によつてドイツ××黨が何處まで最大の大衆動員を遂行するに成功したかが分る。黨の强化、及び大衆の指導に關する直接の成功は、等しく最近の數週間に起つたザックセンミバーデンの選擧に於て現れた。最も廣汎なる大衆が黨の政策について來たことは一九二三年に至るまでの最も××的危機を包臓した時代よりも、今日の方が遙かに强い。かくて黨は××の二つの波の間の時代に於て統一戰線戰術のレニン主義的適用によつて、大衆動員に對する廣き基礎を作つた許りでなく、又動き出した大衆を組織することに對する廣い基礎を作り出した。これは、黨が來るべき××戰に昔日よりもヨリよく堪える樣になつたミ云ふことの最良の保證を與へる。

(Kommunistische Internationale 1927 Jan.)



帝國主義者の軍備縮少はラクダの
針の目を通るやうな藝當である

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

極左的組織理論の一典型

——勞働組合の政黨化に就いて——

澤野俊雄

一

最近我が國の無產階級運動に於て方向轉換論が提唱されて以來、あらゆる方面に於てその條件としての理論鬪爭が開始され、組合主義、折衷主義の克服が叫ばれて來た。そしてその結果吾國勞働者運動はその意識に於て一段の高揚を示した。今や我が國の無產階級は全無產階級的政治鬪爭への進出の理論的根據が與へられ、その指導組織としての勞働農民黨の結成を見るに至り、鬪爭は全國に亘つて果敢に行はれつゝあるが、具體的にそれが如何なる組織を以つて遂行されるやに關しては論ぜられることが少なかつた。かくて勞働農民黨の組織形態の問題、協同戰線黨たる勞農黨と勞働組合及び農民組合との組織的關係の問題、これと關聯する黨及び組合の內部における左翼の活動の問題等々は殆んど論ぜられることなくして過ぎた。だが今や鬪爭の遂行は必然的にこの問題を當面の問題たらしめる。最近、討論會、雜誌、大會等に於て黨と組合との組織上の關係、黨と組合との職能に關する問題が論議されるに至つたのはこの必要によつてゞある。

我々はその一例として、本年三月廿一日日本勞働組合評議會東京合同勞働組合の大會に本部より提出されたこの問題に關するテーゼ——「勞働組合組織に關する我等の態度」——を見る。このテーゼは恐らく黨と勞働組合との組織上の關係を——たとへそれが直接に勞働組合の內部組織の原則を論じたものであるが——具體的に規定した最初のものであつたと云ひ得る。このテーゼは大會に於て留保され、終ひに可決されるに到らなかつたが、すでに公表されたものである以上、我

々はこれを不問に附することなくこの問題の解決への第一歩として、テーゼを批判し檢討する必要があると確信する。以下我々はそれをなすであらう。

二

テーゼは云ふ

『今日における我が勞働者階級の力の成長は最早組合主義の規定した意識と組織に絶對の拘束を感ずる。今日我々が持つ組織は組合主義的指導原理の下に狹隘なる勞働者の生活過程そのまゝの自然生長的組織である。かゝるが故に我々の意識が外部の要素と結束して急速に全無產階級的政治行動に質的躍進をとげつゝある今日、かゝる自然發生的組織は我々の意識と必然に矛盾を感ずるに到る。かくて我々の組織は改められねばならない。「如何にして全階級的に融合せしめるや」の見地に立つて。だが意識は組織を決定するけれども、組織がかくて成立すると必然に組織を或程度まで拘束する。こゝに交互作用が起る。……』(テーゼ第一節組織と意識)

この引用より明かなるが如く東京合同勞働組合は全無產階級的政治闘爭への方向轉換と共に、それ以前に樹立された組合の組織を變更し、又現在の全無產階級的政治闘爭の主體とされてゐる勞農黨との關係を規定し、更に全國勞働組合の有すべき職能を規定せんとする。

そして新たなる組織と職能とを決定する以前に先づ全無產階級的政治闘爭へ方向轉換せざる以前の組合の組織原理を明かにし、これを揚棄せんとする。

テーゼは云ふ。

『我々が現在持つ組合の形態は、日本の無產階級運動が「絶對的專制的抑壓」の下にあつて必然に持たざるを得なかつた所謂「政黨と組合の混合型」であり、亦「政治的はたらきかけ」を持たなかつた時代の必然の所產である』(第二節大衆黨と組合)

だが今や無產階級の全面的進出は、政治闘爭の指導機關としての勞働農民黨を持つに到つた。そしてそれが故に必然的に日本の無產階級運動が從來持つてゐた「政黨と組合との混合型」を脫却して、全無產階級的指導の任務は當然政黨に移らねばならなかつた。かくて勞働組合も亦「混合型」を脫し、組織を變更し、職能を變ぜざるを得なくなつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

そこでテーゼは續けて云ふ。

『だが我々の力の成長は我々をして、「當面の過程を闘ひとる爲に全無産者の間に無産階級を指導勢力とする政治的協同戰線體を有せしめるに至る一の媒介、一の中間關節である。（この文章意味不明、最後の「である」は「たらしめる」の誤りか――筆者）かくて「政治的はたらきかけ」の主客（體の誤りか？）は樹立された、あらゆる中間層へのはたらきかけは勞農黨を通じてなされねばならない。組合内の青年部、婦人部が必然に分化して勞農黨の客體としての媒介組織を獨立に持たねばならなくなつた。組合もかくて亦、今は一の中間關節――勞農黨と勞働者層の間の――になる。』（第二節）

かくて次に第三節には組合の新らしい任務に對應する組織原理が展開されてゐる。我々はそれを全文引用するであらう。

『だが勞働者層の間に捲き上る不平、反抗は客觀的には××的存在だがそれ自身としては有産者社會の下に事物化された意識の爲に、常に必ずしも勞農黨の目ざす方向と一致するものではない。それを轉化し、指導し、合流せしめる爲に日常の行爲を通じて理解させる一の「意識的技術的行爲」である。かゝる行爲によつて始めて大衆は己れの歴史的使命を理解する過程に到達する。そしてそれは又大衆のものとして再生産されて、かの「意識的技術的行爲」に働きかける、こゝに機關としての原則として全成員を直接に代表する大會の意義が存在する。かゝるが故に大會は、一の大衆團體たる組合にあつては最高權力の所在である。と同時に勞働者層のもつ意識の種々なる發展段階と形態の端的な表現である。こゝにかくて「表現の主體」――機關としての大會及びその延長、縮少型の執行委員會――と、「意識的技術的行爲」の主體――專門部――とが對立する。そして後者が前者を克服する度合に相應じて、大衆黨と勞働者層の中間關節としての組合は任務を遂行して行く。從來の執行委員會が專門部を單なる補助機關として隷屬せしめて、かゝる兩者の區別を對立しなかつたのは、所謂「混合型」のもたらした必然であつた。執行委員會は「政治的はたらきかけ」の主體となつて、政治部へ政黨組織の媒介）、爭議部（勞働者層、人民層への媒介）、組織部（勞働者層への媒介）、婦人部（婦人層への媒介）、青年部（青年層への媒介）、教育部（教育團體）等の專門部を隷屬させたのであつた。

かくて我々の理解する組合における行爲の主體は專門部でなければならぬ。而もそれは大衆のあらゆる不平、反抗のそれをも組織し統一し轉化せしめる爲に「意識的技術的行爲」を行爲すべく、工場の末端までの組織を持つものである。そしてそれは政治的行爲である故に、專門部とは政治部である。勞働者層に對する組織も教育も調査も及び日常全經濟鬪爭の指導もかくして、それは日常政治部の活動である。かくして政治部は勞農黨を通じて他の要素との結合の樞機となる』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ついでに第四節支部を全文引用するこ

「獨立の組織單位としての支部及び支部委員會は政治部の地域出張所にならなければならない。
地方的政治闘爭は全體に連關してのみ政治的意義を見出される。自然發生的の地方支部は經濟闘爭、經濟的暴露のみに自己を止める。
組合の中央より工場の末端までの政治部及びその一部としての政治的オルガナイザーの一系列のみが、かゝる闘爭を全階級的闘爭に引き上げ、從つて意識を高め得ることが出來るだらう。
かゝる見地に立つて始めて、評議會の「組織大綱」「本組合の組織」を我々は解決することが出來る」

三

筆者はこう／＼組織テーゼの全文を引用してしまつた。今こゝにこのテーゼを要約するならば、次の如きものこなる。

一、組合主義の克服——全無產階級的政治闘爭への展開——勞農黨の成立

二、かゝる情勢の下における勞働組合の職能、組織の變化——混合型の脫却——組合の政黨化

そして組合を政黨化する爲の具體的な組織原理が樹立された。

一、「表現の主體」——機關としての大會及びその延長、縮少型の執行委員——こ、「意識的技術的行爲」の主體——專門部は對立すべきものである。

二、專門部は大會、執行委員會を克服せねばならぬ。何こなれば克服する度合に應じて、組合の新任務——大衆黨と勞働者層この間の中間關節としての任務——が遂行されるから。

三、而して「專門部」こは政治部である」

四、「獨立の組織單位」としての支部及び支部委員會は政治部の地域出張所にならなければならない。

この新なる原理によれば、組合は終ひに經濟闘爭の機關たることを止めて、黨の爲に大衆を獲得する機關こなり、組合の實際の支配權、及びその機能も悉く、勞農黨の下に立つ政治部に移されることゝなる。勞働組合に固有の任務及び組織

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は最早必要ではない様に思はれる。一體何故卒直に組合の解散を宣言しないのか我々は今こゝではこのテーゼに現れた前後の矛盾、或ひは組織技術上の誤りを的として論評しないであらう。このテーゼに現れた始終一貫してゐる原則——組合の政黨化——を論ずるであらう。

四

テーゼは勞働組合政黨化の原則を樹立した。しかし勞働組合とは何であるか。マルクスは云ふ。

『勞働者側の唯一の社會力はその大衆である。しかし乍ら大衆の力は不統一によつて打ち破られる。勞働者の分散は、勞働者同志の不可避的な競爭によつてひきおこされ、持續されてゐる。勞働組合は最初、彼等を少くとも單なる奴隷の地位以上に高めたところの契約諸條件を獲得する爲に、この競爭を除去するか少くとも制限せんとした勞働者の自然發生的な試みから成立したのである。

從つて勞働組合の當面の任務は日常の要求、資本の不斷の攻撃に對する防禦手段に、換言すれば勞働賃銀と勞働時間に限られる。勞働組合のこの活動は單に正當なばかりではない、それは必要である。今日の生産方法が存續する限りそれを廢止することは出來ない。………』（マルクス、インタナショナル勞働者協會創立宣言カウツキー版四七頁）

勞働組合は明かに經濟鬪爭の機關である。そして又勞働組合は資本の攻撃に對する勞働者階級の組織的防禦であつて、資本主義そのものを××する機關とはなり得ないのである。こゝに勞働組合の越ゆべからざる限界がおかれてゐる。（ローザ・ルクセンブルク、改良主義論九九頁以下參照）

しかし乍らそれは資本主義に對する一個の鬪爭機關であり、又日常當面の必要からして大衆の最も參加し易き大衆的團體である。まことに『幾百萬の勞働者は、完全な無組織な狀態から原始的な、低級な、最も簡單な、最も受け容れられ易い（尙ブルジョア民主々義的偏見に浸染してゐる者にとつて）組織形態即ち勞働組合に、今初めて入り込んで行きつゝある』（レーニン左翼小兒病六六頁）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級の前衛は新たにかゝる組織に入り込んで來た大衆を、指導してこれを我等が部隊たらしめんが爲には『必ず大衆の存在する場所に於て活動せねばならぬ。吾々は凡ゆる必要なる犧牲を拂ひ、最大なる障害を突破して、たとへ反動的な組織であらうとも、凡そプロレタリア的なまたは半プロレタリア的な大衆の存在するところのあらゆる組織內に於て組織的に、頑强に、執拗に、忍耐强く××と××に從事しなければならぬ』（前揭）

かくの如くにして初めて前衛は大衆の信任を博し、大衆を動員し、指導することが出來るのであり、更に又かくの如くにしてのみ大衆へ左翼精神を植付け、それを育てゝ行く事が出來るのである。こゝに於てこの組合內の大衆は吾々を、又吾々によつて結成されたる黨――それが前衛黨であると協同戰線黨であるとを問はず――を全力をあげて支持することゝなる。かゝる前衛の大衆に對する指導關係が確立されることによつて黨は容易に大衆を全無產階級的政治行動へ動員することが出來るのだ。

合同勞働組合のテーゼの云ふ如くに、最も初步的な大衆から成る組合をそのまゝ政黨化したり、或ひは政黨の一部に編入することによつては、大衆を自然發生的な鬪爭から社會主義的政治鬪爭へ轉化させることは出來ないのである。勞働組合を政黨化してしまふことは、勞働者大衆の最も利害關係の深い鬪爭機關の性質を捨てることであり、大衆の日常鬪爭への參加を妨げてしまふ。かくてすでに獲得した組合員を徐々に失ふのみならず、新たに入るものは減少する。組合が縮少萎微することは、前衛の活動する最もよき舞臺が縮少することであり、從つて前衛の指導能力が低下し、黨の活動力がにぶる事になるのだ。そして又組合の政黨化は勞働組合の統一戰線の實現を困難ならしめるであらう。それ故に吾々は組合の政黨化に絕對に反對する。

組合は飽くまでも大衆の最も初步的な利益を代表して勇敢に鬪爭する團體でなければならぬ。そして前衛がこの鬪爭に**熱心に執拗に働いてこそ、彼等は彼等の自覺した目的へ向つて大衆を指導することが出來又大衆を向上せしめることが出**來るのだ。この意味に於て組合は未組織の大衆と政黨との中間關節に成り得るのである。組合に獲得された大衆を出來る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だけ敏速に教育し訓練して政黨に再組織することは我々にとつて甚だ大なる任務ではないか。

從つて我々は勞働組合の主腦部を專門部に、政治部にしやうと云ふ意見に反對する。我々に問題となるのは、組合のあらゆる方面へ、大會にも、執行委員會にも、專門部にも、或ひは支部にも前衛が積極的に入り込むことであり——これは前衛が勇敢なる日常行動によつて大衆の信頼を得て始めて出來ることだ——そして結局は全組合をあげて我等の黨の方針を支持せしめるにある。

五

合同勞働組合のテーゼは日本の過去の勞働組合が「政黨と組合との混合型」であつたことをはつきりと認識してゐる。これは正しい。そして勞働農民黨の成立以後この混合型から脱却することを要求してゐる。我々も贊成だ。しかし今までに述べた如くに我々は組合を政黨化してしまはうとする解決方法には絶對に反對する。これは明かに左翼小兒病の組合政策であるが故に。

レーニンは「左翼小兒病」に於て彼等の組合政策を指摘してかう云つてゐる『左翼的ドイツ共産主義者は……次の如き結論を引き出すのである。……勞働組合を去れ!! 組合の内部における活動を否定せよ!! 新考案の勞働者の組織形態をつくれ!!……と。これは許すべからざる愚である』（六四頁）

合同勞働組合のテーゼは明かにこの最後の「新考察の勞働者の組織形態」を採らんとする努力ではなかつたか。我々はこのテーゼを左翼小兒病の組合政策であると云はざるを得ない。

この誤謬は偶然のものにすぎなかつたのか。我々はさうは思はない。以下その理由を述べるであらう。

我々は昨年來再度の無産階級運動方向換轉論が叫ばれたのを聞いてゐる。我國無産階級運動はたしかに全無産階級的政治闘爭へ方向轉換をしなければならなかつたし、又爲し得たのである。しかし乍らその條件としての理論が唯物辯證法的でなく觀念的であつたが故に、當面の過程を闘ひ取る爲の具體的條件としての組織論が同時に展開されなかつた事に起因

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すると云つても恐らく過言ではあるまい。その結果、政治鬪爭と經濟鬪爭この關係並びにその組織間の關係が殆んご規定されることなく、つひにはこの關係は、一方强調されつゝあつた政治主義と經濟主義この關係こ混同され、經濟鬪爭卽ち經濟主義こ誤認されて、經濟主義の否認は同時に經濟鬪爭の否認にまでなつたのであつた。從つて經濟鬪爭の機關である勞働組合の仕事が輕視され、サボタージユされ、終ひには組合の政黨化の理論さへ生むに至つたのである。

更にその上、現在資本の攻擊が猛烈を極めてゐる塲合に益々困難こなりつゝあり、しかも全くじみな組合內の仕事よりも、全面的な政治鬪爭へのスローガンの方が、組合の鬪士をはるかに心理的にこらへたここも事實である。かくて組合の仕事は放擲され、萎縮されるにまかされた。最大抵抗線の放棄――それが最も重要なるものゝ一つたる以上――は、決してマルクス主義的ではない。我々は誤つた理論とあやまつた心理から出發した勞働組合に對する左翼小兒病的政策を克服しなければならぬ。しからざる限り組合は萎縮し、終ひに崩壞してしまふであらうことを恐れるからだ。

六

今や資本主義の一時的安定は、勞働者階級に對する資本の攻勢を必然的にともなひつゝあり、將來更にそれは增大するであらう。資本の攻勢は單に政治戰線の方面にのみ限れるものではない。經濟戰線にも從來より猛烈な攻擊が遂行されてゐる。政治鬪爭への進出に夢中になつて後者を忘れるな。勞働條件を劣惡化され、失業を以つておびやかされてゐる大衆を動員し、組織し、鬪爭せしめることは、我等の指導力を高め、從つて黨の指導力を高めることだ。

組合を放棄するな！

組合の政黨化を否定せよ！

混合型を脫却して、新なる任務のもこに組合の活動を開始せよ!!

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

左翼の勞働組合戰術の基調

――統一運動同盟の役割――

中澤篤

はしがき

雜誌『勞働者』二月號掲載の論文『我國勞働組合運動の發展とその方向轉換方策に就て』及び同誌三月號『階級的勞農總聯合と統一運動同盟の任務』と題する二論文は、同誌の編輯後記にも記るされてゐるやうに「……吾々の運動の內部には、未だ暗示に留まつて、現實の發展過程を過程すべく充分に展開せられてゐないところのもの……」であつたが、これは「……この問題の實踐的解決のために企だてられた論文である。」と云へるに依つても、この論文が、今日の左翼運動の全戰線的發展の上に、如何に重要な地步を占むるものであるかは明瞭であらう。

私は以下に於て此の兩論文の有する戰術的、戰略的價値に就いて聊かの愚見を述べて見度いと思ふ。

一、資本主義の現段階

(一)

先づ第一の問題は、この兩論文が資本主義の現段階を如何に認識してゐるかと云ふ點である。勿論この兩論文の構成が、左翼組合運動のテーゼとも云はれる形式で書かれてゐるがために、今ま私が問題の出發點としようとする、資本主義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の現段階に對する詳細な記述が到底不可能であると云ふことは勿論諒察してゐるのである。けれども、だからと云つて極く簡單な現段階の規定が、現實の資本の情勢から分離したものだとは毛頭考へてゐないのである。これが今日我々左翼の陣營内で行はれてゐるところの資本の現段階の一般的規定である、かゝる規定（資本の客觀的狀勢）より、一切の左翼理論が出發してゐる以上、當然に我々の行はふとする現段階の認識規定は、この簡單な現階段の認識を問題とせざるを得ない。

ところで資本の現段階を如何に認識してゐるかに就いて見るに、

「………國際資本主義沒落の――從つて吾資本主義のそれへの合流――傾向が更に顯著になり、速度を遞增した時代………」（勞働者三月號三十八頁統一運動同盟の任務）

これが兩論文を一貫した現段階の解釋である。更らに今ま便宜のためにマルクス主義昨年十二月所掲の『所謂「現段階の分析」に就いて』（淺野晃氏）の論文を參照しよう。

淺野氏は北條一雄氏の論文「勞農政黨と勞働組合」から引用して次の如く言つてゐる。

（一）　日本のブルジョアジーは、未だ所謂絕對的、專制的勢力を打破し切つてゐない。

（二）　しかも我が資本主義は、今や世界資本主義と共に現實に沒落の過程にある。

『資本主義最後の段階としての帝國主義』は今や我國に於ても亦强烈に沒落の過程を辿りつゝある。

斯く我が資本主義の現段階を分析することにより、我國資本主義の現勢を、沒落過程を只管、一意直進するものとして規定し、沒落の燒印を押し付けてゐる。

以上の引用文に依り我々は、現在の左翼陣營の內部に、たゞ單純にも我が資本主義は世界資本主義と共に沒落を合流してゐると云ふ論者のあることを知り得た。けれども我々が刮目して世界資本主義の現段階（歷史的段階のことではない、何時でも資本の沒落論者は、現段階と歷史的段階とを混同してゐる）を見る時には、これらの沒落論者に對して皮肉に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も、世界資本主義は一時的安定の時期にあり、そして世界資本主義の沒落過程に合流する、我が資本主義も亦一時的安定の諸相を呈してゐるのである。尙ほ且つ、コムミユニスト・インターナショナル第七回擴大委員會の中心題目は、この資本主義の一時的安定に對して、世界無產階級運動は如何に鬪爭するかであつた。

(二)

何故、彼等が『資本の急激なる沒落』をのみ强調するに至つてゐるであらうか、その原因は如何こ云ふに、それを知るには吾々は先づ勞働者二月號所揭の『我國勞働組合運動の發展と、その方向轉換方策に就て』の論旨の構成を見ることに依り諒解が出來る。即ち、

1. 最近勞働組合の展開(概括的)
   方向轉換——折衷主義——勞働總同盟の分裂——評議會の成立——分裂後の左右兩翼の對立鬪爭の展開——中間派
2. 勞働組合を全階級的政治鬪爭へ轉換せしめる具體的方策
   日常經濟鬪爭形態發展の歷史——轉換方策——組織の問題
3. 日常經濟鬪爭に對する方策
4. 失業者運動に關する方策
   一般失業者の狀態——失業者運動の歷史——失業者運動の轉換方策
5. 總聯合運動に關する方策
   總聯合運動の歷史的發展——今後の方策
6. 國際運動に關する方策
7. 未組織勞働者組織の方策

斯樣に此の論旨の出發は、資本主義の客觀的情勢と無產階級運動の現勢との、客觀的評價を求めずして、いきなり最近

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働組合運動の展開を概括的に述べることに依り、玆に全面的認識の缺除を曝露してゐるのである。而して右論文の諸處に散見する、資本のあはたゞしき沒落理論は、これと關聯するところの現段階に於ける資本主義の客觀的情勢の認識に對して、何等、論及する箇所を見出し得ない。そして終始一貫するところは、沒落期に表はれる左右兩翼の對立鬪爭に對する左翼の進出論である。

今日の左翼展開の理論的根據が右記論文の基底たる、沒落理論より發生してゐると斷定するを得るならば、右論文の骨子たる『沒落理論』の根據を批判して見よう。處で右記「勞働者」二月號所揭論文は、前述せる通り今日の資本主義が、最早や沒落過程に入つてゐると云ふ前提の下に書かれたものであるが爲めに、該論文より『沒落』の理論的根據を求めることが出來ない故に、マルクス主義十二月號淺野晃氏論文を再び參照することゝする。

淺野氏は論文中に於て、現在の資本主義の安定を次の如く解釋してゐられる。即ち、

一、「かゝる安定はなほ保たれてゐる。」それは正しい。併し乍ら、問題は、むしろ、かゝる安定が恢復しつゝあるのか、將又それが消滅しつゝあるのか、にある。

二、かゝる安定の「故に資本の現實運動の諸形態は加速度的に發達しつゝある」のであらうか。否、安定の恢復と消滅との波動を通じてのみ、それは常に愈々加速度的に發達――それ故に亦沒落――しつゝあるではないか。

右の引用に於いて淺野氏は、現段階に於ける資本の安定の問題は、果して安定せるか、または不安定であるか。――即ち恢復しつゝあるか、將又それが消滅しつゝあるか――が問題である、と云ふ氏自身の認識を持ち出されてゐる。かゝる問題の規定の方法は、それ自身非マルクス主義的方法である。何故なれば、現段階の資本主義は、安定か不安定か、その二者いづれかでなければならぬと云ふことは、現在に於ける資本主義の安定が、安定的要素の蓄積と共に、それを破壞するところの不安定的要素の擴大と深化とを齎らしてゐると云ふ、相對的條件の下に現段階の資本主義は、所謂一時的安定を得てゐると云ふ事實を見なくて、よしんば見たとしても前述の北條氏の見解の如くに、『最後の段階としての帝國主義

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は今や我國に於ても亦强烈に沒落の過程を辿りつゝある』と云ふ、帝國主義に與へられた一般的結論を適用してゐることを意味して居り、この限りに於て公式論者であると云へる。

事實、帝國主義の段階は、獨占的資本主義である、獨占的資本形體への發展が齎す資本の集中と蓄積は、階級的對立を激成し、獨占資本間及び國家間の對立鬪爭を激發させることに依り、それは死滅し行く資本主義である。けれど死滅し、沒落する資本主義であると云つても、正常的に何等ジグザクの道程を辿らずして沒落するものでないことは勿論であらう。このことは個々の產業部門、個々の國家、個々の時期において、安定と不安定、安定の大小、恐慌の强弱、著しく急速に沒落する國、可成り長期間の餘命を保つ國等の差異が生ずることを妨げるものでもない。勿論、帝國主義それ自身としては沒落し死滅するところの資本主義最後の歷史的段階に到達し、この過程を通過して、次の準備されたる社會へと變革されて行くは申すまでもないことであらう。

であるから、我々は資本主義の現段階に表はされた、客觀的情勢を以つて所謂『一時的安定』に向つてゐると云ふことは、この安定が『安定』を得んがために更らに沒落的要素を激成せしめてゐると云ふ、必然的な內在的法則を認識してゐるから、從つて尙更ら『一時的安定』の本質を探究し、曝露する必要が生ずるのである。吾々が此の資本主義安定の現象を正確に分析することは、プロレタリアの基本的な政治的、經濟的の戰術を規定し得るところの、必須不可缺の對象であるからである。

では吾々は戰術的基調を得る爲めに、所謂『一時的安定』の問題を次項に於いて分析して見なければならない。

(つゞく)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

李大釗と陳獨秀

支那の國民革命運動の、最もすぐれた二人の指導者李大釗及び陳獨秀は、一人は北京に於て軍閥張作霖の爲めに、他は上海に於て白色テラー蔣介石の爲めに捕はれて、陳獨秀は既に殺されたと傳へられ、李大釗もまた、學者としての彼を失ふに忍びずとして、趙欣伯（奉天軍法律顧問）その他の助命運動あるにかゝわらず、死刑はまぬかれぬものとされてゐる。この偉大な指導者二人を殆ど同時に失ふことは、支那國民革命に取つて一大衝擊であるばかりでなく、世界のプロレタリア解放運動からいつても、非常に大きな痛手といはねばならない。それは、支那の革命運動が成就されると否とによつて、世界の資本主義が生きるか死ぬるか！　かゝつてゐるといつていゝからである。

かゝる、世界資本主義に取つて置きの支那の、國民革命運動の進出は、支那自身の軍閥、反動家と共に、世界資本主義諸國の帝國主義者が、首をしめらるゝと同樣である。こゝに於て、列國公使團は軍閥張作霖をして、不法にも勞農ロシヤ大使館を襲擊させ、亂暴狼藉をきわめ、掠奪をほしいまゝにすると共に、李大釗を初め、日支人男女八十五名を捕縛した。そして、殆ど時を同じうして上海に於て、反動革命家蔣介石をそゝのかしてクーデターを行はせ陳獨秀を捕縛せしめた。

李大釗は、有名なマルキストで、支那の現代思想界に重きをなす學者であるばかりでなく、近代支那民衆運動の中心人物であつた。

彼は、一方白哲美髯の、至つて溫厚な性質の持主で、淸廉よく後輩の指導にあたる世話ずきの紳士で、現に北京大學に敎鞭をとり青年學生間の信望を獨占してゐた位であつたが他方彼は豪憺な民衆の指導者であつた。

ソビエットロシヤと西北國民軍の首領馮玉祥を結びつけたのも支那をして、ロシヤ政府を承認せしめたのも、國民黨大會を組織して、國民黨に今日あらしめたのも彼の力である。また民國十四年十一月の段祺瑞邸の襲擊事件即ち春秋の筆法をかりていへば、「學生ついに段執政々府を倒した」ところの學生事件にも彼が中心人物だつたのであつたこんな關係から彼は早くから軍閥政府から常に目の敵としてつけ狙はれてゐたのであつた。

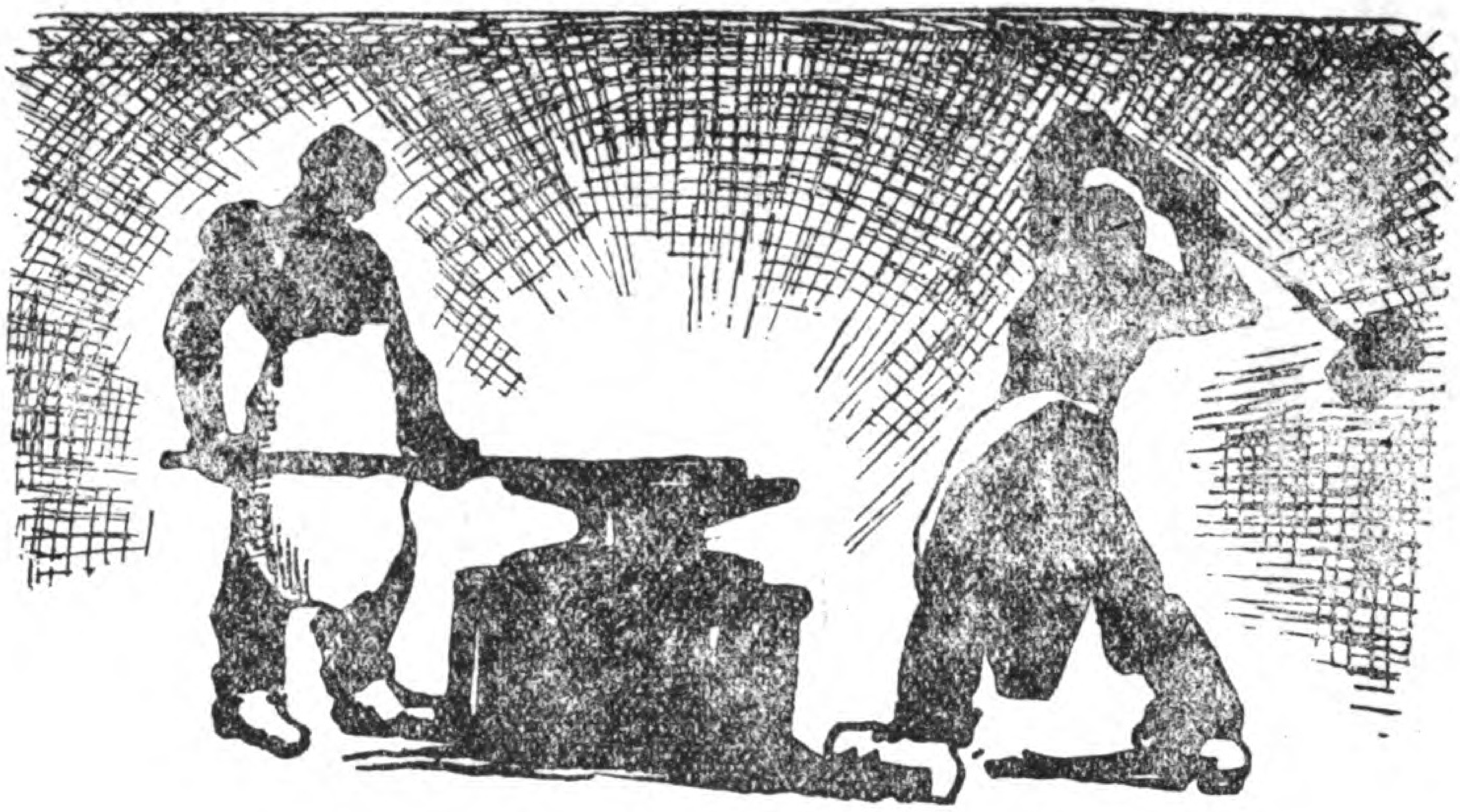
陳獨秀か支那共產黨の創立者であることは餘りによく知られてゐたことである。そしてまた彼が李大釗と共に、支那に於けるマルクス主義者の二大巨頭であることも誰も知らないものはないだらう。

彼は安徽省の出身で、日本に留學した、李大釗と同樣早稻田大學に學んだのであつた。陳獨秀は最初、民國六年北京大學の文科學長になり、こゝを根城として反孔子敎運動を起して思想革命の先驅をなし、捕えられて投獄されたが彼が北大で下した種子は間もなく、同大學生を中心とする五四運動（反軍閥から排日運動と轉じ、遂に曹汝霖陸宗輿等が燒切された）となり、これを機として支那に共產黨が生れたのである。その後彼は上海に居て反キリスト敎運動を起し、そしてその頃から彼は、全然共產主義をもつて靑年を指導し、確實に支那に於ける共產黨の基礎を築いたのである。

汪兆銘と連名して、國民黨と共產黨との提携の不變なることを聲明した直後、彼は蔣介石のクーデターで捕へられたのである。

（まさいち）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



—勞農運動—

鐵道從業員組合の危機は如何にして到來したか

——鐵道勞働運動に對する若干の批評——

松岡一雄

一、無産階級運動に於ける損失

全日本鐵道從業員組合は今崩潰の危機に瀕してゐる。再組織は恐らく困難であらうと豫想される。全日本の無産階級からその急速なる發展、その慌しい進出に多大なる期待と信頼を——然しながら又若干の不安も亦伴つて、それは餘りに意識的成長が不自然であつたからだ——以てその前途を著しく囑望されて來た、國有鐵道唯一の、從つて又、吾國陸上運輸業中最も重要な地位を占めるこの組合は、創立後一年を經過した今日、突如當局の一大彈壓に逢ひ、全國に散在する八十數名の前衛的活動分子——それは殆んど悉くである——を馘首さるゝに至つた。

當局の狂暴に等しい組合破壞の如何に憎むべきものであるか、又日本の支配階級は、今現に、如何なる地位に置かれることを意味するか、それは述べる必要のないほど自明のことであるが、當局のこの計畫的暴壓に對して、組合當事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者——と云つても一部少數者であるが——は何等自信ある對策を講じ得ないばかりか、すばらしく元氣のいゝ喚聲のそれにも拘らず、實體を形成する六千有餘の組合員大衆は、彈壓の前にひたすら萎縮し、戰慄し、今や相踵いで組合脫退を聲明してゐると聞く。馘首者と勞働大衆との距離は目に見ゐて急速に乖離し、恰も頸を刎ねられた頭と胴體の關係にも彷彿するものがあるが、その胴體すら今日決して滿足に拾收出來ないでゐる。

日本の無產階級運動は、曾ての經濟鬪爭をばかなぐり捨てて、今や政治鬪爭にまで進出したと云はれる。そして歷史的使命意識の遂行にまでそれ自身を成長させてゐる。この時吾等の運動に於いて、最重要な役割を持つであらうところの國有鐵道唯一の組合——それはほんたうにたつた一つだ!!——を喪ふことほど、しかく大きな損失が又と吾等の陣營にあるであらうか。

では、鐵道從業員組合に對するこの重大な危機は、抑も何故に、又何人によつて招來されたのであらうか?。

吾々は、それを玆に指摘することを忍びないかに思ふ。だが、事實は既に明白になりつゝある、生じ被ひ隱すことこそ却つて無產階級的ではない。これを精算し過失を過失として卒直に認めることによつて、吾々の運動は一層正確な針路を辿ることが出來るであらう。

この意味から吾々は有體に事實を示さねばならない。それは鐵道を中心とした一部少數の左翼小兒病者諸君の行動によつてゞある。

諸君のある者は、過去に於ても幾度か過失を冒したかに見ゐる。曰く政治硏究會、曰く勞働黨、曰く農民組合、曰く自治會等々、ではなかつたか。最近又鐵道の組合に對して過失を重ねたことは、如何に諸君の運動に批判がないか、結果が如何に非無產階級的であるかを語るものである。

では、鐵道從業員組合を此危地に導いた最初の原因は、如何なる點にあつたか?。それは、この組合の持つ特性をば全く無視したことに始まる。

二、鐵道に於ける組合の特性

原則的に觀る時、共通の要素、共通の條件によつて支配された、又支配さるべきだとされる幾多の勞働組合も、これを個々について觀れば、その組合の持つ特性が必ずあるべき筈で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。それは啻に產業の種類の異なるによつて然るばかりでなく、產業自體の歷史的事情によつても異なる。多かれ少なかれこの特性は組合の進むべき一般的戰略を條件づける基礎である。これを無視して組合の組織的發展は望まれない。國有鐵道のような特異な獨占的企業で、しかも組合運動の後れて發達したところでは、この特性が著しく强い。それ故、鐵道の組合に關係し或は關心するものは、先づこの特性の正確なる認識を運動の初端に於て把握しなくてはならない。

然らば、云ふところの鐵道の特性とは果して如何なるものであるか?。

一、從業員は政府の直轄企業で官吏風に訓練されて來たゝめ、その生活意識は官僚的意識――封建的ブルジョア意識――によつて確く支配されてゐる。從つて階級意識――プロレタリア意識――は極めて乏しい、この點日本の獨占的企業のなかでも第一位に置かるべきものだらう。(イデオロギーの所在)

二、福利的施設が他の如何なる產業よりも巧妙に又複雜に行渡つてゐるため從業員の意識は二重にブルジョア的桎梏の捕虜たるに甘んじてゐる。(ブルジョア的社會政策の所在)

三、從業員相互間に競爭による所謂發達の組織――カラクリ――が最も巧みに案出されて居り、彼等の生活意識(希望)を當局者はこの點に能く集中させてゐる。(行政的懐柔政策の所在)

四、國有鐵道に於ける所謂資本の攻勢は他の產業に較べて微弱である。例せば大正九年以來定期的な淘汰以外には特に著しい失業、賃金引下げ、時間短縮等を見ない。――これは企業擴張複生產が常に行はれるからである。――(經濟的條件の所在)

五、鐵道當局が一度權力――それ自身ブルジョア政府と一體であるところの――を意識的に行使すれば組合潰滅の如きは極めて容易である。(階級力の物理的對立の所在)

六、鐵道當局は本質的には如何なる組合でも其存在を忌避してゐる。(勞働政策決定原因の所在)

國有鐵道に於ける勞働組合の特性を決定する客觀的條件は大略右の如きものである。

尤も鐵道の組合はこの特性から抽出されたゞの、のみだと云ふのでは勿論ない。(こう考へることはノンセンスだが)こ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れ以外に一定の時期に於ける原則的な條件、要素、傾向等々のもの——特殊ご一般、部分と全體の關係——は固より含まれてゐる。けれご、これ等は寧ろ組合の生成發達の過程に發生し、或は意識的に作り出すものであるから、特定の組合を考へる時、しばらくこれは抽出しても差支へないであらう。

三、創立當時の大衆と左翼の關係

右の條件の下で組織される鐵道の組合は、必然に勞働組合主義の組合でなくてはならない。それが善いか惡いかの問題ではなくして、苟くも鐵道の內部に組織を欲する限り、之れ以外には方法がないのだから——

從つて、この點は創立當時組合幹部の間に異存がなかつたと云へる。大正十五年二月鐵道從業員組合の創立に際し、第一回大會が發した宣言は『……吾が組合は勞働條件の維持獲得を目的ごする勞働組合主義の組合である……』旨を記して、組合の性質を明かにしてゐる。このこごは無產階級運動の眞の歷史的使命を意識する時、少からず齒搔ゆいとしても、しかし已むを得ないことに屬する。

組合はこの立場——少くごもこのレッテル——に據つて組織と教育に餘力を注いだ。組織の効果は特に顯著であつて、一ケ月五百名乃至一千名の割合をもつて組合員が增加した。

しかし、教育の方面は遺憾ながら組織と反對の結果を齎したご言へる。就中大衆的教育は殆んご失敗に近く、僅か少數者の意識的教育の範圍に停まつた如くである。これを單に意識的教育として見る時、少數者による左翼意識の獲得はもちろん成功であつたであらう。がしかし、そこには兩者を通じて大きな缺陷がある。

第一、鐵道の組合には經濟的鬪爭を通じての實踐的訓練の機會が全く與へられてゐない。だから、組合主義的鬪爭意識すら獲得させる方法を持たない。辛じて官設の現業委員會を組合の立場から利用する程度にとゞまる。從つて自然大衆の教育は、文字若くは言葉によつて、支配階級の經濟的政治的機構を批判するか、マルクス主義的文獻を解說するかにとゞまり、所詮これ等を通じての、階級意識の喚起に歸する。だから理論ご行動の一致に基く實踐的教育と云ふものは、この組合に全然ないことになる。

このことから、必然二つの相異なる結果(方面)が生ずる。

一つは一般大衆は依然として無自覺なブルジョア・イデオロ

ヂーの範疇を離脱出來ないこと、一つは反對に極く一部少數者のみが、觀念的に透徹した左翼意識にまで飛揚し得たことこれである。それ故、この組合は最初から前衛分子と一般大衆の間に著しい、寔に著しい距離を生ずる傾向に置かれてゐたと云はなくてはならない。吾々は茲に、組合に釀される危險の一つの根原を認める。

然し、最初の間——少くとも創立後二三ヶ月の間——は兩者の關係はそれほど憂慮する狀態ではなかつた。寧ろ組合主義の外殼によつて暈かされてゐるだけ、組織の中に於ける左翼分子による左翼的任務の遂行に多くの便宜があり、又それ故に、顯著なる効果を舉げ得たと云ひ得る。鐵道では組織の中に在つてこそ始めて左翼の意義がある！　この感を深からしめた。

けれど、それは極めて僅かな期日である、極左翼の諸君の跋扈が開始さるゝに至つた。

四、過失の第一步

この組合員の著しい增加率は抑も何に依つてか。

それは、ひとへに封建的ブルジョア意識の濃厚なる土壤に、勞働組合主義の意識的浸潤をもつてしたからである、それ故從業員大衆の芽生へて來た自然成長性に適合して、組合は急速なる發展を遂げることが出來た。だから、組合はこの狀態とこの關係をしばらく組織の根本方針として維持することが絕對に必要があつた、これのみが組織を擴大する唯一の許された方法である。左翼はこの中でヂリ／＼と巧妙に勇敢に且つ注意深く使命を果す——これが吾々の考へであつた。既にこの頃、日本の無產階級運動は次第に意識化し、左右兩翼幷びに中間派の諸層に各々結成されるかに見ゐた。この場合鐵道に於ける左翼の任務は右翼への轉落を防ぐと共に、形式上左翼に意識化することを防げ表面飽くまで中間派的態度を持するにあつた。然るに極左翼諸君は甚だ狂燥であつた。

諸君は、創立後僅か三ヶ月に滿たない、この組合を目して、大衆の自然成長性は既に途絕したと信じた。もはや、組合は意識的鬪爭の過程に這入つた、鬪爭によらねば大衆の獲得は困難である!!　と主張し出した。

一體如何にして、何と鬪爭し、何を獲得しようとするのか？　との疑問を深からしめる。これは少くとも暴論ではないか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しかし、この頃——大正十五年五月前後——を界として日本の左翼陣營內に嵐のように卷起つた、資本主義の急速なる自働的沒落論、これに適應する政治的鬪爭論——その是非はしばらく問題外だ——を吾々は想起することが出來る。穿ち得て言へば、この頃鐵道の組合にもこの公式が密輸入されたのではなかつたか(?)。それ故この場合諸君の主張する「意識的鬪爭」とは組合主義の齎す必然的段階としての意識鬪爭過程ではなくて——それは到底考へられないことだ——寧ろ資本主義の自働的沒落論に迎合させる政治鬪爭を、この幼稚な組合に負擔させようとの、無意識的な又は意識的な計畫だと見ることが出來る。これは誤りであらうか。

この計畫は、しかし部分的に又個人的に組合內部で隱密に進められたかに見えたが、その第一步として、(鬪爭に對する最初の試として)これを全組合の問題に擴大して、鬪爭の舞臺に移したのが、昨年七月東京に起つた「新宿車掌監督組合仲傷」に對する抗爭である。この抗爭は組合が凱歌を奏したかに見ゐた。一時的ではあるが東京附近の組合員に鬪爭意識を喚起させ、新しい結合力を與へた。更に、決意さへあれば組合は計畫的に鬪爭を開始する能力を持つものだとの印象を鐵道當局に與へることが出來た。

しかし、失敗が伴つてゐる。その一つは鬪爭によつて戰ひ取る筈であつた新宿車掌室から、たつた一人の組合員すら獲ることが出來なかつたこと、その二つは在來白紙的態度であつた監督者階級(驛長、機關庫主任、電車庫主任、通信區主任等々)をして著しく反動化させたことである。これ以來彼等の組合に向ける眼光は全然變つて來た。

監督者階級は對立鬪爭の過程が進展すれば、勿論勞働大衆の敵であるが、この階級は從業員の職場に於ける直接支配者であるだけ、常に生殺與奪の權を握つてゐる。それ故、組織運動の効果如何は、大半彼等の態度によつて決せられて來た。だから、戰術的には組合は出來る限り彼等を中立意識の地帶に留置することが大切である、かくして組織は著るしく延びるし、又延ばし得る。

しかるに、必然經過すべき對立鬪爭過程でもないのに、好んで彼等との間に對立關係を築き、彼等を意識的に反動化させたことは非常な失敗であつた。

ただ、この失敗は當時明かに失敗として表はれず、反つて成効を思はせるてい の過發的眩惑が表はれた爲めこの現象に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

眩惑した諸君は更に急カーブを描いて過失を重ねるに至つた。

その眩惑とは何であつたか？。

新宿車掌監督に對する抗爭は、かくて監督者階級を一齊に反動化させたのであるが、しかし彼等は、直ちに露骨な反抗的態度には出なかつた。これは寧ろ、彼等の卑屈な俗吏的意識の故である。それが爲め一見、外面的には組合は彼等を充分克服し得たかに見えたので、今迄洞ヶ峠をきめてゐた從業員が進んで組合に加入して來た。この現象に眩惑された諸君は、高らかに歡聲をあげた『……組合は完全に意識的鬪爭の過程に潜入したのだ、見よ、この組織率の高まりつゝあることを……』

だが、これは眞實に鬪ひ獲つたものではない、監督者の鼻息によつて自らの向背を決めようとした日和見主義者が、過々測定を誤つて加入したにしか過ぎない――と解すべきものである。けれど、これを飽くまで意識的鬪爭の所産であると誤謬する諸君は、この抗爭によつて鐵道從業員組合は、もはや政治的鬪爭の舞臺にまで動員出來るものだとの驚くべき誤算を抱くに至つた。

既にして、諸君の原則的觀念的狂燥性は、鬪爭の唯一の條件である當局と組合との階級的對立(力)の物理的關係すら無視したもの丶如くである。吾々は茲に極左翼諸君が、必然辿るであらうところの、認識の色盲に基く過失の第二次的原因を見る。

五、勞農黨支持に現はれた左翼の態度

吾々は、決して政治的鬪爭そのものを否定するものではない。しかも政治的鬪爭は少ブルジョア的な議會主義であつてはならぬことを識る。更に、資本主義最後の段階としての帝國主義時代――資本主義安定の問題は別として――に於て、無產階級の全面的政治鬪爭への進出の寔に必要であることを知る。だが、それにしても組織を崩潰し、又は崩潰する充分な危險を豫想してまでも、組合は政治鬪爭へ躍進しなくてはならない(今が其の時期である)とは如何にしても信じ得られない。特に支配階級に依る資本主義再組織の合理化的攻勢に直面する時、これに抵抗するには勞働者は鞏固なる組織を持つ外ない。これこそ今無產階級の陣營に於て特に必要な事柄ではないか。この鞏固な組織の上に立つて、始めて鬪爭――

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治闘爭——は可能であると信ずる。

この事情は、鐵道の組合に於ても同一でなくてはならない。寧ろはるかに急務であり必要である。理由は繰返すまでもない、既に示した國有鐵道に於ける勞働組合の特性と及び組合が現に當面しつゝある地位によつて明かであらう。

しかるに、極左翼の諸君はかゝの如き見解を俗悪なる經濟主義だと罵倒し、積極的に政治闘爭に進出すべき野望を引續き組合內部で進めたのである。

この具體的な現はれこそ、昨年十月東京に於て開かれた第二回中央委員會で決定を見た、勞農黨支持の「原則」である。この原則を確立するまでには、加入賛成論者、尙早論者の間にかなり激烈なる討議が行はれた。活潑な討議によつて一つの折衷說として採用されたものが、この原則であるから、この事實だけを抽象して見ると、其の成行が如何にも自然であり、合理的であり、且つ必然であるかの如き外觀を呈する。けれど事情を知る者にとつては、これは意識化された者の間で行はれた、眞實の討議が齎した結果ではなくて、遮二無二押進もうとする極左翼一派のトリック、それに組合主義者（？）が壓せられたものだと云へるが、その原則（折衷的な）さへ諸君によつて計畫的になされたものであるかに見ゆる。何んとなれば、第一に組合は尙早論者の主張するように、この時必ず勞農黨に加入せねばならない理由を持たなかつたこと、第二に極左翼の諸君が加入說を强いて通過させるならば組合は、反對者一派の脫會若くは分裂にまで導く危險があつたからである。從つてこれを（單に）戰術的に見れば、勞農黨加入問題を一應「支持の原則」にとゞめて、加入を次期大會に持越したことは成功だと云へる。

しかし、問題は中央委員會に於ける戰術の巧劣ではなくて、政治闘爭への全組合的進出を、この期間に於て特別に問題とした點に存する。

この行動が不自然な進出であり、不自然な意識的成長であつたことは、特別な說明を待たずとも讀者も充分想像出來るだらう。これは明かに過失であつたと云へる。鐵道當局はこれによつて鐵道從業員組合の地位と性質を確定し、對組合政策を一變したと傳へられるが、しかし玆までの行動も、若し其の後の態度と處置を誤らなかつたならば、吾々はそれ程鼓を鳴らすべきではない。然るに諸君は次期大會（本年二月）までに當然なさねばならない處置を執らなかつたばかりか、當局

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對する測定を依然誤り續けてゐた。これが鐵道の組合をして今日の危機に陥入れた決定的な原因ではなかつたか。

六、この期間に於て何を爲したか

中央委員會で勞農黨支持の原則を定め、加入を次期大會まで保留することに成功したからには、極左翼諸君は先づ何を措いても、この六ヶ月の期間に組合内部の結成と政治行動主義の喚發に努め、充分政治鬪爭に堪ゆる用意を組合員大衆に施し、其の確信の下で大會に臨むべきである。如何に實情に目を覆ふ者でも、此儘の形で、まさか組合が政治鬪爭に堪ゆると考へたのではなからう。して見れば、結果を折衷説に求めたのは脱會、分裂の危險を豫想したことの外(又それ故に)適當な準備期間の必要を併せて豫想したからであらう。だから問題は、寧ろ、この期間に於ける諸君の活動如何にあつた筈である。善かれ惡かれ組合を此處まで進出させたからは、迅速果敢に組合の質的昇揚に努力しなければならないであらうし、又其ことによつて、即ち其のことの成効によつてのみ、極左翼の行動の理論的價値が實踐的に證明されるのではあるまいか。

しかるに、事實は期待と全く反してゐた。少くとも、一定の計畫と目的意識の下で何事もなされなかつたかに見ゐる。たゞ漫然『……世界資本主義の沒落期に合流する後進資本主義國たる吾國資本主義は……國家資本主義的トラストに形成され……今や吾國有鐵道も亦必然に……全無產階級の全面的政治鬪爭にまで……せねばならぬ、又せらるゝであらう……』青年鬪士をして聖句の如く信ぜしめたこの素ばらしい流行語を、一字一句誤らない形で散布したと云ふこと以外には、各支部に於ける中堅分子の結成すら出來なかつた如くである。況んや組合員大衆のなかになど少しも行動は浸潤されなかつた。

それのみではない、大衆の層から遊離してゐる一部少數者の元氣のよい政治的喚聲、そのどよめきだけを眺めて滿悅したらしい極左翼の諸君は、それだけの、簡單な現象から、鐵道從業員組合全般の運命をトして終つたようである。

從つて諸君は、この組合の實力を遙か過大に見積り、反對に敵の(當局の)組合に對する態度を遙か過少に見積つて終つた。この點に對する諸君の誤算には致命的なものがあつたと云へる。『吾々の組合はもはや質的に變形されて來たのだ、昔

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の鐵道從業員組合ではない、これに向つて當局は何事を爲し得るものか、假りに爲し得たところで一蹴出來る、何ぞ恐るるに足らん』と云ふのである。これがストライキどころか經濟鬪爭一つしたことのない、又出來つこない組合について言つてゐるのである。頭腦の辯證的發展とは、しかしかくの如き思考形式を指すのではなからうか。甚だ失禮な言葉ではあるが、老猾なる鐵道當局者は、『何て御目出度い組合のドンキホーテ共よ!!』とあざ笑つたことであらう。

七、結

これから先組合が辿つた經路、本年二月の大會も、大會後に於ける當局の一大彈壓と、彈壓後に於ける組合の危機に就いては、既に多く知れ渡つてゐることだから詳述しない。

要約すれば、昨年十月の中央委員會から、大會までの間に極左翼の諸君は何等の準備を進めなかつたばかりか、節操のないアヂテーションによつて反つて、組合の危機を作り出したこと、當局の態度をひどく見縊つたこと、組合の力を著しく過信したこと、等々によつて、大會をして殊更硬化させ組合は戰鬪意志のあることを表示させて終つた。これは明かに當局の求めてゐた陥穽に嵌まつたことを意味する。結果は俄然現在の危篤狀態である。創立後一年にして六千名の組織勞働者をもつた、この重要な組合は、僅か第一次の彈壓だけで支離滅裂な狀態に陥り、組織を支へ得るか否かさへ今は疑はれてゐる。

願ふに、鐵道從業員組合をして、後一年當局の彈壓を延ばし得たならば——極左翼の跋扈さへなければこのことは可能であつた——日本の無産階級運動は將來まつと祝福される筈である。

顧みて寔に憮然たるのみ!!

附記

この稿を終つた日、四月廿四日全日本鐵道從業員組合は、臨時擴大中央委員會を開催し、當面せる組合の危機に善處すべく今後の方針を決定したと云ふが、當日諸君の多くは自己の重大なる過失が組合の危機を招いたことを深く認め、勞働黨支持(加入)撤回の本部案に贊成しこれを通過せしめ、唯一の主張をも遂に放棄したと聞く。今組合には極右翼の御用組合製造の蠢動があり頗る多難なるが、極左派は大衆の信頼を失つてゐるから到底組合の救濟は出來ない。獨り組合の中堅を成す所謂左翼中間派のみが唯一の力であらう、これが左右兩翼を連絡することによつて、僅かに再組織を爲し得るのでないかと思へる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本農民組合の反移殖民運動

守田道輔

一　はしがき

我日本に於ける無産階級運動は、我日本に於ける人口問題を無視しては、決して進展しないと共に、政府並に資本家階級の考へる如く、社會の變革を回避して、徒に舊套的帝國主義的資本主義並に移殖民政策によつて、人口問題の解決を圖らんとしても、それは不可能のことである。

兎に角此問題は、プロレタリアのブルジョアに對する鬪爭を基調とする被帝國主義民族と帝國主義國家の鬪爭過程に於ても、又プロレタリアによつて變革さるべき社會主義社會に於ても、重大なる未解決の社會問題として、當然取扱はるべき性質を多分に有してゐるものである。

我々は、今、押迫れる東洋に於ける被搾取民族の帝國主義國家に對する猛然なる鬪爭の過程に於て、特に此問題を理論的に究明し、實踐に於て、我々の有利に展開することに努めなければならぬ。

我々は此處に於て、人口問題解決のために行ふとする政府並に資本家階級の移殖民政策と、是こ對立する無産階級特に我日本農民組合の反移殖民運動を究明することは極めて重要なことである。

二　最近に於ける移殖民問題の現狀

我政府並に資本家階級最近に於ける移殖民政策の現狀を見るに、北米カルホルニヤ州及布哇に於ける日本人勞働者の絕對入國禁止及び、支那、滿洲、朝鮮、臺灣に於ける日本の帝國主義的資本主義並に、移殖民政策の行詰りを、無意識的に觀取せる彼等は、必然に其移殖民政策の上に方向を轉換しなければならなくなつた。

其處に於て、彼等は資本主義興隆の途にある極めて無風地帶とも云ふべき南米に於て、最も廣大なる地域、豐沃なる土

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地、溫和なる氣候を有するブラジルを選んで、政府奬勵の下に、海外興業會社なる殖民會社をして、盛んに殖民事業を營んでゐる。然も政府は五十二議會に於て移住民組合法案を通過せしめて、多額の資金供給の道さへ開いたのである。

尙此他に長野縣、鳥取縣等の海外協會及び、大阪の野村德七、東京の山科禮藏、鐘ヶ淵紡績の資本家達は、廣大なる土地を購入して日本農民の移殖を企てゝゐるのである。

又一面政府は行詰れる人口問題解決及び、海外移殖民政策の轉換策の一助として、北海道拓殖法案を五十二議會に提出せしめ、是を通過せしめて海內移殖民を企てゝゐる。

斯の如く政府並に資本家の移殖民政策が、帝國主義的に行詰ると共にかなり日和見化する時に、北米、英吉利、和蘭は、その廣大なる領地、植民地に固く門戶を閉鎖　、東洋に於ける弱少民族の入國を禁止してゐる。斯くして是等英米蘭等の帝國主義國家の移殖民に對する政策と日本政府並に資本家の移殖民政策と對立するに至つた。

然るに、英、米、蘭等の國際的帝國主義國家の殖民地門戶閉鎖による移殖民對策と、我日本政府の移殖民政策が、是と對立する時に、日本無產階級の一部日本農民組合は、日本政府のブラジルに對する移殖民政策を、帝國主義的なるものとして、是に對抗して、反移殖民運動を起して、是と對立せしめたのである。

我々は此處に於て、此三者の對立關係を究明して、國際無產階級の立場、特に弱少民族の立場より、眞實なる無產階級的移殖民政策の理論的根據を把握して、是が理論を實踐に於て展開せしめなければならぬ。

三　帝國主義的移殖民政策

明治年代に於ける我日本の資本主義は、侵略的軍國主義と共に急激なる發展飛躍を告げた。その領土擴張、帝國主義的移殖民政策は日淸戰爭によつて、臺灣を支那より獲得し殖民地となした。

次ぐる日露戰爭に於ては朝鮮を保護國とし、更に是を倂合して、完全なる殖民地となした。尙滿洲を支那より奪つて是を管理し、鐵道、鑛山、其他重要なる商工業の一切を支配したのである。

更に歐洲戰爭に於ては、米國と共に、一段と高く帝國主義的地位を顯揚すると共に、南洋に於けるマリアナ、カロリン、マーシャルの諸群島を我殖民地としたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國主義國家としての日本は、斯の如き移殖民政策によつて獲得したる殖民地に向つて、官吏、軍人、資本家、月給取、勞働者、農民、漁民を移住さして、是等殖民地に於ける弱少民　を搾取したのである。

斯くする一面日本の帝國主義的資本主義は殖民地の產業のすべてを支配すると共に、支那に向つて一大發展を告げ、支那に於ける石炭、鐵鑛の大部分、紡績業の四割、船舶の三割、貿易の四割を支配し、政治的貸附金を加へると拾五億圓近い投資を行つて、其利潤を支那より搾取すると共に、日本に於ける資本主義的大工業、海運業は、殖民地、支那、南洋に於ける民族を搾取することによつて維持される狀態にあつて、それによる搾取は、大資本家を益々富しめ、無數のサラリーマンを養ひ、勞働貴族を養つて來たのである。隨つて此時代に於ける一般民衆が、黃金萬能を夢見帝國主義を謳歌し、軍國主義熱に浮さるゝは必然な現象である。

然も斯の如き時代に培れた我組織された無產階級の中に、今尙多數の所謂愛國主義者を有することは事實を彌が上にも證明せしめるものである。

然るに露伯亞××革命、日本內地に於ける無產階級勢力の擡頭、更に發展する全階級的政治鬪爭　の進出、支那國民軍の反帝國主義運動は、飛躍的發展を告げた日本の帝國主義的資本主義をして沒落の過程に突入せしめると共に、殖民地に於ける被搾取民族の反抗は、帝國主義的移殖民政策を放棄せしむべき運命を餘儀なくしてゐる。

然るに、日本政府幷に資本家階級は、歷史的世界變革の理法を觀取すること能はず、英、米、伊、佛等の帝國主義國家と協力して、支那民族の反帝國主義運動防壓のため、最期の攻勢に出づるべく出兵した。然しそれは、恰も太陽の西輸するを逆轉せんとする痴人の夢である。

然るに又政府及資本家の一部には、此形勢を觀取して、帝國主義移殖民政策行詰の活路を、極めて無風地帶と稱さるゝ南米ブラジルに需めたが、ブラジルは本來北米と同じく帝國主義的資本主義の流れをくむが故に、必然的に將來に於て日本人移民反對運動が起るべきを豫期さるゝのである。

我々は此處に於て、帝國主義移殖民政策の破綻を極簡單ではあるが實踐と理論とによつて究明し得たのである。

四　帝國主義的移殖民運動

我無產者階級間に於て、我帝國主義移殖民政策に對する反

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對意見の論じられたのは、確に一九二四年大阪に開かれた日本農民組合の第三回大會であつたと思ふ。其決議は無産階級の立場より移民を行ふこいふことであつたが、其後一九二五年夏の同じく日本農民組合の中央委員會の席上に於て、當時最も有名なる賀川豐彦氏の歸國直後同氏より移民部の設置を提議されたが保留となつた。大體當時の傾向は無産階級の立場より移民を認めることであつた、然も實行方法に至れば政府と協力するといふかなり協調的のものであつた。

然るに、無産階級内部の對立鬪爭は、移殖民問題に對する對策も必然的に轉換せざるを得なくなつた。一九二六年十一月の勞働農民黨の第一回大會はブルジル移民の窮狀を曝露した。更に一九二七年二月大阪に開催されたる日本農民組合の第六回大會は、政府の所謂帝國主義的移殖民政策なりとするブラジル移民に對し、積極的反對の決議をなしたのである。

我々は先づ日本農民組合の反對決議の理由を究明せう。

土地と自由六十二號(岡山縣聯合會山岡君說明)

近代的資本主義の農村への侵入、人口の倍加的増加は必然的に農業經營なるものゝ破綻を招來し多數の土 耕作者 失業者群に追込んだ。此時に當り政府及海外興業會社は、失業者群をして樂園地、理想の天國等の名の下に、あるひは極端なる資本主義的意識拜金宗徒、成功夢遊病者に陷らしめ巧に欺瞞し南米殖民を奬勵し、移民の形態によつて搾取しつゝあるのである。私は南米に移民にいつてゐたからよく知つてゐる。かゝる移民に對する反對は帝國主義の打破ともなると確信する。

方法は南米移民反對を代議員及傍聽者が地方に歸つて宣傳する。

是に對し廣島縣聯合會の上岡君から詳細なる說明を提案者に需めたが、山岡君は中央委員は多忙だから是以上の事は出來ぬと答辯した。然も代表者達は是に對し充分なる審理をなさず、只帝國主義打破なる齒切のよい言葉に幻惑されて可決されたもので、理論的根據か極めて薄弱であり、運動方法も反對宣傳に止まつてゐるから、是が追究を避けたいのであるが、影響すること極めて廣汎であるから簡單ではあるが究明して置く。

反對理論の根據たる農村の人口は過去に於ては、近代資本主義并に帝國主義的移殖民政策によつて解決されたが、資本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主義并に移殖民政策によつて、最近の農村過剰人口の問題は生れたのである。

政府并に資本家が南米移殖民の形態に於て搾取すると云はれるが、南米に於ける日本人農民を搾取してゐるものは、ブラジルの資本家である。搾取するから移民に反對するといふことは、工場は資本家が搾取する處であるから通はぬ、土地は地主が搾取するから耕作せぬといふことゝ同じである。

又南米移民に對する反對は、帝國主義打破になると言はるゝが、ブラジルは北米と同じく帝國主義國家であつて、弱少民族を搾取する朝鮮や、支那に於ける移殖民と相違してゐるから、是に反對したからと言つて、帝國主義の打破にはならない。

我々の此處に於て、最も緊密に考究しなければならぬことは、今究明した反對の理由でなく、日本農民組合の反移殖民運動を帝國主義打破のスローガンとするために、農民大衆を反動に轉化せしめる事である。

一部の南米移民反對論者は、農村階級鬪爭の火の手を鈍すが故に反對するといふが、然らば農村に於ける過剰人口の反抗心を利用して農民赤衛軍の編成が出來るであらうか、果して農民は革命軍の先頭隊となり得るであらうか、本來農民は利益を與へ呉れるものなら共產主義かなり、改良主義かなり、反動かなりである。只農民を獲得する最大條件は勞働者階級の強力なる結成にある。

我々此處に於て徒なる反移殖民運動を起して利益を提供しない時、政府、資本家の樂園理想の天國と稱して宣傳する移殖民政策に農民を馳せ加へしむるに至つて、是に對し積極的移殖民運動を採れば採るほど、農民大衆を帝國主義最期の陣營に止めしめることになるのである。

五　反帝國主義的移殖民運動

日本の資本主義は、關東大地震後、既に英米の國際資本主義の支持によつて漸く維持される狀態にあつて、此時支那に於ける反帝國主義運動によつて、正に帝國主義的地位は失はれんとしてゐる。

我々は此處に於て、帝國主義國家より被帝國主義國家として弱少民族の仲間入りをした日本國家全體の指導方針を、帝國主義より反帝國主義へ轉換せしめなければならぬ。

我々は、今行詰れる日本無產階級運動を全國民的運動とするため、實際に展開策を講じなければならぬ人口問題の解決

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を、反帝國主義的移殖民運動に展開せしめなければならぬ。

我々は、是がため全日本の民衆に、我日本の被帝國主義國家たることを强調して、是を認識することに努めなければならぬと共に、反帝國主義的移殖民運動のスローガンを揭げて、是に全民衆を參加せしめ、國際帝國主義國家たる亞米利加、英吉利の濠洲、ニユージランド、ニユーギニヤ、和蘭のボルネオ、セレベスを、支那、印度、朝鮮、比律賓、日本の被帝國主義民族に開放さすため、我々東洋に於ける被搾取民族の共同戰線を張つて、國際的帝國主義國家に對し一大鬪爭を開始することによつて、我無產階級并に國際無產階級の勝利の日を早めることが出來る。

我々は、是が運動の展開を圖るため、日本農民組合の消極的反移殖民運動を放棄せしめ、全日本の無產階級の强力なる結成の下に、全日本の民衆を指導して反帝國主義的移殖民運動を起さなければならぬと共に、來る五月一日支那廣東に開催さるべき太平洋勞働組合會議を永久的機關たらしめて、特に此問題のため鬪爭せしめなければならぬ。

（一九二七年四月十五日）

年々增加する勞働爭議

資本の攻勢は勞働者の生活をいやが上にも威壓する。從つてわが國の勞働爭議は年每に增加する。昨年の總件數は一一五五件に達し、前年度に比し三四三件を增してゐる。これを大正十一年度以降の大勢にみるに、實に四割の增加率を示し、經濟界の不況に源因するものが最も多い。爭議の目的となる要求事項は、賃銀增額、賃銀算定支給方法變更又は反對、賃銀減額反對等が主たるもので、總じて積極的要求事項よりも消極的のものが多い。統計に表はれた數字は左の如くである。

產業別勞働爭議件數

一、機械器具製造工業二六五。二、染織工業二五三。三、雜工業二二六。四、化學工業一八四。五、運輸業一九九。六、飲食物製造工業五四。七、鑛業三〇。八、その他一四。十、通信業八。

要求事項

一、賃銀增額三一五。二、解雇退職手當の確立または增額二三〇。三、賃銀算定支給方法の變更または反對一三七。四、賃銀減額反對一〇一。五、監督者の排斥四二。六、作業方法規則の變更または反對三一。七、工場設備または利增進施設二九。八、勞働時間短縮二一。九、組合の自由又は確認一一。十、公休日の設定三。十一、その他二三五。

各府縣別件數

大阪(二九〇)。東京(二五九)。兵庫(一二五)。京都(六三)。埼玉(二二)。福島(一九)。愛媛(一七)。和歌山(一五)。長崎(一三)。宮城、岐阜(各一〇)。靜岡、山梨(各九)。栃木、三重、岡山、德島(各七)。秋田、滋賀、茨城、群馬(各六)。高知(五)。佐賀、千葉(各四)新潟、石川、山口、香川(各三)。熊本、島根、鳥取、岩手、青森、奈良(各二)。鹿兒島、富山、山形(各一)。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

理論なき「現段階論」

――丸岡、高橋兩氏の所説を評す――

成瀬光雄

さきに、「社會思想」の丸岡重堯氏はその「世界及日本資本主義の情勢と我國社會運動」（雜誌「社會思想」第五巻第十二號）において我邦資本主義の現段階に對する解剖を與へられ、かつ、濱田徹造氏の批評に會ふや直ちに「資本主義の情勢と我國社會運動再論」（同誌第六巻第三號）を草して、さらにその所見を明かにされた。いまはまた高橋龜吉氏が同じ問題を「日本資本主義の帝國主義的地位」（雜誌「太陽」第三十三巻第四號）において多くの數字を擧げて詳細に取扱はれた。

兩氏の所論は、些末の點においては論旨をも異にするところがないではなく、また、議論に精粗の別はあるけれども、根本においては、不思議にも、全く意見を同じくしてゐる。少くも兩氏ともに我邦資本主義が未だ帝國主義の段階にのぼり來つてゐないことを力説されてゐる。もちろん、こゝでわたしは、このことから直ちに、丸岡重堯が高橋龜吉氏と實は同じであるとか、「社會思想」を通じて丸岡氏によつてその理論を代表されつゝある「日勞黨」が、高橋氏の支持する「社會民衆黨」と、この意味では同じところに歸するとかいふやうな示唆を讀者に投げ與へようといふわけでは、決してないのである。それはともかく、此等の所説はわれ／＼の懐抱する意見と甚しく異るものである。われ／＼は、こゝで、此等の議論を點檢する必要を切實に感じる。

いまひとつ。兩氏は、口を揃へて、我國の左翼が徒に空疎な抽象論を弄び、實證的の研究に努めないことを縷說される。例へば、丸岡氏は次のやうなことを云はれる。――「私をして遠慮なく云はしむれば、寧ろマルクスやレーニンの本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は暫らく（敢えて暫くと云ふ）書棚に列らねて置いて、先づ日々の、月々の、そして年々の資本主義經濟界の作用に接觸し、之れをそれ自身として理解することに努めては如何、と。」まことに懇切、鄭寧を極めた說諭ぶりである！　しかし、考へてみると、これでは、わたしは（そして讀者も同感であらう）迷はざるをゑない。あれほどに資本主義經濟の深い知識を盛つた「マルクスやレーニンの本」で「資本主義經濟界の作用に接觸」することができないとすると、ブルジョアの經濟雜誌や下手な統計なぞの役に立たう筈がない。さしづめ、われ〳〵は自分で資本主義經營でもやらずばなるまい、――かうも丸岡氏はわれ〳〵に說き聞されるのであらうか？

わたしは、以下において、いかに、實證的な材料を埋だかく積みあげたとて、それが何もならないかを、そして丸岡氏にはあやしげな數字なぞを振り廻すのを「暫くおいて」「寧ろマルクスやレーニンの本」を「それ自身として理解するに努めては如何、と」勸告せざるをゑないことを、丸岡、高橋氏等の現段階論に對する批評において現實に示さうと思ふ。

一

われ〳〵の問題は日本の資本主義の發達が現にどうあるかに存する。しかし、こゝでなによりも注意しなければならないのは、日本の資本主義を、それだけとして、切離して觀察してはならないといふことである。

しかるに、――わたしの見るところを以てすれば――日本の資本主義を一つ取り出して、これのみを一圖に硏究し解剖しつゝあるのが、丸岡氏、高橋氏である。こゝに氏等の根本的誤謬が存する。これではいかに事實に忠實であらうとも、いかに「資本主義經濟界の作用に接觸し」ようとも、氏等の觀察はまさしく「藪睨み」である。しかしながら、このことはより詳細なる說明を必要とするでもあらう。

世界經濟のもつ意義

いふまでもなく、帝國主義とは、資本主義といふ經濟組織の一段階、一形態を指した言葉である。しかるに「經濟」は、現在においては、たゞ世界的の規模においてのみ考へられる。嘗ては、それは、一國の、一國民の規模において考へられたけれども。いまや、生産關係とこれに對應する交換關係の體系は「世界的規模における」ものとしてのみ存する。「國民經濟」の代りに「世界經濟」がある。ブハーリンの説明を藉りるならば、多くの國民經濟は、「國際的分業」を紐帶として、一つの纏まつた全體を、一體系を成してをる。それぐの國民經濟はこの全體の部分として始めて意義を有する。

ところで、この「世界經濟」は、組織について見れば、「資本主義的」である。つまり、世界的の規模において餘剩價値が生産され、それがブルジョアジーの諸群、諸亞群の間に分配されてゐるのである。そして、實に、かゝる資本主義が、いまや、帝國主義の段階に達してゐるのである。それゆゑ、資本主義の一段階としての帝國主義は、なによりも、全體としての世界經濟について云はれることである。逆にいへば、全體としての世界經濟が、「帝國主義」といふ言葉によつて表はされる性質を具へてゐるといふのである。

レーニンが「帝國主義」を論じる場合も、もちろんさうである。そのことは、丸岡氏と高橋氏が後生大事にしがみついてゐるところの、レーニンのいはゆる獨占資本主義としての帝國主義の五つの表徴を見てもわかる。例へば、その第五には「資本主義強國間の世界の領土的分割が終結したと見得ること、」とある。また、別のところでは、同じ表徴の一つとして、「もろもろの國際カルテルの間における世界の經濟的分割が始つたこと、」と云つてゐる。(傍點は筆者)

しかるに、帝國主義のひとつの性質は――それが「死につゝある資本主義」たることにある。すなはち、帝國主義の段階に達するや、世界經濟――世界資本主義は「死につゝある。」資本主義の本質たる自由競爭が、その對立物たる獨占に變りつゝある、――資本主義そのものがその對立物たる社會主義に移りつゝあるのである。(このことはレーニンの強く主張するところである。わたしはこれを特に丸岡氏のために云つておかねばならない。なぜなら、氏はその「資本主義の情勢と我國社會運動、再論」において次のごとき氣焰をあげてをられるから。「蓋し世界資本主義經濟の帝國主義化は……

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尠くも今日より二、三十年以前に始つたと云つてよい。而も此間の……世界全體の資本主義の發展はどうであつたか。……乍併、この正しいには違ひないが而もわかり切つた論法を以てすれば、二十世紀初頭の世界資本主義の發展時代は則ち資本主義の沒落時代であつたのだ。こんなことを云つて滿足出來るものは滿足して居ればいゝ。吾々はそんなたわいない理論に滿足してゐるわけには行かないのだ。」——傍點は筆者——丸岡氏によれば、帝國主義の時代を以て、レーニンと共に、「死につゝある資本主義」の時代、「資本主義の沒落時代」と見ることは「たはいない理論」なのだ！「マルクスやレーニンの本は暫らく書棚に列らねて置く」のではなく、「マルクスやレーニンの本」を永久に葬り去るのが丸岡氏の眞意なのである！）

われ〳〵は、帝國主義の時代の世界經濟は「死につゝある」と見る。かうした、ひとつの有機的全體としての世界經濟の性質は、それの部分を形成してゐる日本の經濟が、また、必然に具へねばならないものである。かゝる意味において、われ〳〵は、まづ、我邦資本主義が帝國主義の時代にあること、かつまた、我邦資本主義が沒落しつゝあることを主張する。

丸岡氏と高橋氏の世界經濟論。

だがしかし、わたしが上のやうに論じたならば、丸岡氏と高橋氏とは、さぞや、猛然といきりたゝれることであらう。そして叫ばれるに違ひない、——俺だつてそんなことぐらゐは知つてゐるぞ！ と。なるほど、丸岡氏は「世界資本主義」といふ言葉を、大いに、使つてはをられる。いな、それのみではない。氏は「左翼が日本の資本主義が世界資本主義の一聯であることを强調することは正しい。之は如何に强調するも强調し過ぎる憂はない。」と云つて左翼の頭を撫で、「殊に此際、右翼派に云ひ度いことは、その人々が、「世界資本主義の一聯として」みた日本の特殊性と云つたやうなことを全く問題としてゐないことである。」（「世界及日本資本主義の情勢と我國社會運動」）と云つて右翼を大いに叱りつけまでし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

てをられる。翻つて高橋氏を見ても、そこには、なる程、世界的に云つて、斯樣な現象(「資本主義最後の階段としての帝國主義」の內容を指す、——筆者)が最近年著しくなつて來たことは事實である、」或は、「世界の資本主義が已に帝國主義的階段にある、」といつたふうな言葉が見出される。一應は、兩氏とも帝國主義の段階における世界資本主義を認められ、そのうちにおける日本の資本主義を論じつゝあるかに見受けられる。

しかしながら、言葉の上で認めたやうな格恰をしたところで、それは何ともならない。われ〳〵は此等の意味するところが、眞實にどんなものであるかを檢しねばならぬ。丸岡氏は云はれる、——「日本の工業は啻に自國の需要を充足するに止まらず、進んで世界市場に徒出して歐洲製品を驅逐しつゝあるのである。例へば前述の國際聯盟の調査に據ると、北米に於ける總輸入に於ける日本からの輸入の割合は一九一三年の二分の一厘から一九二二年には六分二厘、南米には……、濠洲には………、印度には………、支那には………に、と夫々增加してゐる。印度及び支那に就いてみる限り、其後引續き日本製品の勢力は增大しつゝある。………。斯くして前述せる米國商務省調査の世界貿易に於ける日本の位置をみると、輸入合計に於て日本の占むる割合は、一九一三年の一分八厘から三分四厘に增加して居る。」(「世界及日本資本主義の情勢と我國社會運動」「社會思想」第五卷第十二號)そして、この數行の說明が、實に、——丸岡氏によれば——「以上は專ら世界經濟の立場から日本の經濟の位置をみた」(傍點は筆者)ものなのである。氏において、日本の資本主義を「世界資本主義の一聯」として見ることは、たゞ、「日本其者の資本主義よりも、外國の資本主義の運命が問題であり」(傍點は筆者)と主張するだけのことである。高橋氏の所論もこれと全く軌を一にする。氏が「……日本の資本主義が假令如何なる階段に現にあらうとも、世界的に見て、現に、帝國主義階段に資本主義は爛熟したのであるから、世界資本主義の一環として、同一運命に陷る」といふ言張を認めるのは、たゞ、「日本の資本主義が、その(世界資本主義を指す——筆者)影響を多かれ少かれ受けると云ふことは免れない」といふ意味においてゞある。(高橋氏前揭論文、傍點は筆者)そしてまた、氏の試みることも、資源及び販路における外國との關係を見て、「日本の國際的地位」を論じるにある。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しかしながら、われ〳〵を以てすれば、氏等のかゝる考察は、我邦資本主義をば眞實の意味において世界經濟の體系の一部分として觀察することでは、決してない。それは、現實には、我邦資本主義をば依然として切離して見てゐるものである。なぜか？　氏等の見るものは、日本と米國との關係であり、日本と支那との關係である。日本の經濟と外國のそれとの關係であり、日本の經濟の「國際的地位」である。それは、日本といふ世界經濟の一つの部分と他の部分との關係を見るにすぎない。重ねていへば、部分と部分との關係であつていかなる意味においても全體と部分との關係ではない。こゝでは、全體として、有機的なる一體系としての世界經濟の考察が、我邦資本主義の觀察の基底に置かれてはゐない。

われ〳〵はこれと異る。われ〳〵は、既に述べたごとく、世界經濟の各部分、大きくいへば三つの群――このことは後により詳細に述べようと思ふ――の間の相互の關係によつて決定されるところの世界經濟の全體としての現勢、傾向を確認する。そして、かゝる考察の結果としての世界經濟――世界資本主義の性質をば、その一成員たる我邦資本主義が必然に具へることを主張する。

現段階論と無産階級運動の理論

かゝる高橋氏、丸岡氏の誤謬、また、われ〳〵の意見のこれらとの相違は、次のこととの考察によつて一層明かになるであらう。

いつたい、われ〳〵が我邦資本主義の解剖を試みるのは、いふまでもなく、それ自身のためではない。われ〳〵の目的は無産階級運動の戰術の基礎を確立することにある。このことは丸岡、高橋氏といへども認められるところであらう。丸岡氏はいはれる、――「……吾々が此際、殊に希望して止まぬことは、社會運動が據つて立つ基礎たる資本主義經濟、詳言すれば我國の經濟並びに世界資本主義經濟に於ける我國經濟の位置に關して、此際、篤と研究し、尠くとも此點に十分なる考慮を廻らして立論をなす風の盛ならんことである。」（「世界及日本資本主義の情勢と我國社會運動」――傍點は筆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

者）また高橋氏においても、氏が「日本資本主義の帝國主義的地位」を論ぜられたのは、それによつて「我が無產階級運動の綱領、政策、戰術と云ふが如きものは少からず左右せらるべき」ものとしてゞある。

それゆゑ、もし氏等が、眞實に、我邦資本主義を世界資本主義の一部分として觀察せられたのであるならば、かゝる限りにおける考察が當然に我邦無產階級のとるべき戰術の上に、それに對應すべき結論を齎してをるべき筈であらう。それは如何に？

丸岡氏においては、不思議にも、いな、極めて當然に、かゝる、なんらの結論も引出されてゐない。もし強いて求めるならば、「安易なる我國資本主義崩壞論に多少共依存する所の社會運動」に對する警告的言辭の二三である。

高橋氏はこの點について、遙かに卒直であり、大膽である。氏によれば、日本は「プチ・帝國主義國」であり、「こゝに、日本の無產階級運動が、支那におけるそれと等しく、多かれ少かれ國民運動的色彩を免がれ得ざる根本原因がある」（高橋氏前揭論文――傍點は筆者）すなはち、高橋氏の解するところによれば我國の無產階級運動は一種の國民運動である。だからして氏は次のごとくにもいはれる、――「いま我が無產階級の國際政策としては、日本を帝國主義國として取扱ふ代りに彼にその地位の寧ろ、被帝國主義國と利害の一致することを自覺せしめ、彼れが帝國主義國として反帝國主義運動に努力することに由ってのみ、彼れの解放は所期しねられることを理解せしめ、以て日本が領土的侵略に努力する方向を帝國主義倒壞のために轉換せしむることに主力を注がねばならない。」（傍點は筆者）かくのごとくにして、高橋氏は、我國の無產階級が我國の資本家と、仲善く手を繫いで、日本の國を擁ることを、專念勸められるのである。この愛國者を見よ！（レーニンは既に早く、日和見主義者が必然に社會愛國主義者になることを云つた。實に、高橋氏はレーニンのこの所說を、みづからの身を以て、親しく、證明しつゝある！）

これらの、無產階級運動の理論について氏等のいはれることは、我邦資本主義をば、切離して、それだけとして觀察したる、ひたすらに日本の特殊性に着目してなされたる現「段階」の解剖の上に打建てられるに、まさに、ふさはしいもので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。それは決して、世界經濟なる全體の一部として、我邦資本主義がもつべき全體的、一般的規定、――これから生ずべき我邦無產階級運動の戰術の一般的基礎たるものではない。讀者は、これによつて、丸岡、高橋氏の我邦資本主義を世界資本主義の「一聯」として見るといふことが、たゞ一場の挨拶としてのみ述べられてゐることを發見するであらう。

われ〳〵はこれと異る。われ〳〵は全體としての世界經濟が帝國主義時代にあること、――そこからわれ〳〵は、この世界經濟がプロレタリヤの世界××によつてのみ決濟されることを確認する。無產階級運動の終極的標的がプロレタリヤ××に置かれるべきことを主張する。そして、このことは、この部分たる日本の無產階級運動に對して、固より妥當する。いな、日本のみならず、例へば、高橋氏が引合ひに出してをられるところの支那の革命運動についても同樣である。支那の國民革命運動は――高橋氏が主張されるごとく――決して單純なる國民運動ではない。單純なるブルジョア××ではない。それは、今日、「プロレタリヤ世界××の一部を形成する」ものである。

われ〳〵は、全體としての世界經濟の現段階、この全體の部分として我國資本主義の性質から、我邦無產階級運動の戰術に關して、かゝる一般的基礎を、まづ、規定する。

論じてこゝにいたるならば、高橋氏と丸岡氏とが、事實においては、我邦資本主義を切離して觀察し、論じつゝあることは、全く明かであらう。かゝる誤れる理論の上に打建てられてある以上、いかに多くの實證的素材を積み重ねようとも無意味である。他のすべての點を措いても、高橋氏と丸岡氏との「現段階論」はこの點において、根本的に謬りである。

二

しかし、こゝでもまた、高橋氏と丸岡氏とは、得たりとばかりに、わたしの議論を以てそれは抽象論、一般論であると、猛り立たれるに違ひない。そして、丸岡氏は、恐らく、「結局論は役に立たず」とでもいはれることであらう。もとより、われ〳〵の議論がこれに盡きるのならば、まことに、その通りである。しかし、わたしはこゝに停まるものではな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

い。進んで、我邦資本主義を、特に、考察にのぼせようとするものである。

世界經濟における三つの群

ブハーリンが適切にも述べてゐるやうに、現下の世界經濟にあつては三つの群を嚴密に區別しなければならない。三つの群とは「帝國主義的諸國家」、「植民地及び半植民地」、「サウエート聯邦」、これである。そこで、我國がこの三つの——といふよりも、「帝國主義的諸國家」の一つであるか、または、むしろ「植民地及び半植民地」に列せしめらるべきであるかを決定することが必要になつてくる。つけ加へていふならば、さらに、帝國主義諸國家がまた、今日においては、兩極的な相違を示してゐる。アメリカとイギリスといふやうに。そこで日本が帝國主義的國家の一つであるとして、いかなる位置にあるかを決定することが必要である。しかし、このことはこゝでは問題にならない。なぜなら、丸岡氏と高橋氏とは、日本が帝國主義國家であることを否定されるのだから。高橋氏は——上に述べた氏の我邦無產階級運動に對する意見からして容易に察知せられるやうに、——「日本の資本主義が、國際的に見て、帝國主義的階級に分類され得るか、乃至は寧ろ被帝國主義的階級に區別され得るか」(傍點は筆者)に對して、我國は「被帝國主義」乃至は「準被帝國主義」であると斷じられる。丸岡氏もまた、「日本の資本主義が本質的に帝國主義の段階にまで成熟して居るかどうか」の問題に對して、「吾々は日本の資本主義が漸時斯うした時代に入らんとしつゝあることは認めるけれども、既にその時代に在りと見ることは出來ない」といふ否定的な答を與へてをられる。

獨占資本主義としての帝國主義の根本的特質——「集中及集積」

わたしはこの點を駁撃しようと思ふ。改めて問題の設定をなすならば、我國の經濟は、我國をして、帝國主義的國家たる性質を具へしめるまでに成熟してゐるかどうかである。この際、これを測定すべき表徵は決して一つではない。だがし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かし、わたしが既に述べたごとく、帝國主義の根本的特質は「獨占經濟」といふことである。そしてまた、「獨占經濟」は「集中及び集積」にその主たる表現を見出す。(レーニンが獨占經濟としての帝國主義の五つの特徴を掲げる場合に、「生産及資本の集積」を第一に置いてゐるのはたゞ漫然となしたものではない。これが根本であり、他のものゝ出發點たるの意味を以てである。)そこでわたしは、この集中、集積が日本においていかに行はれてゐるかに關する丸岡、高橋兩氏の說明を檢討しようと思ふ。

まづ集中、集積については次のごとき項目が考へられる。(1)合同。(2)企業聯合——トラスト、カルテル、シンディケート。(3)資本系統による聯關——「參加」、「企業金融」、コンツェルン。もし、われ／＼が我邦資本主義の集中化の程度を測らうとするならば、この各について見なければならない。

空疏なる實證

丸岡、高橋兩氏はこれらについていかに述べてゐられるであらうか。丸岡氏にあつては極めて簡單である。たゞ次のごとくに放言されるにすぎない、——「昨今、我國に於ける生産及び資本のトラスト、カルテル化の研究が、我無産階級の陣營內でも大分始められて來たことは、吾々の喜ぶ所ではあるが、只其趨勢を示す幾何かのばら／＼の事實を羅列して、それでもつて、如何にも我國の資本主義は帝國主義時代にまで本質的に成熟して居ることを立證し得たりとするものには……遂に組することが出來ない。」(「資本主義の情勢と我國社會運動、再論」——傍點は筆者)たゞ、これだけである。恐らく、讀者はこゝで、われ／＼に實證的研究を口を酸くして說かれたのは丸岡氏ではなかつたかと疑ふことであらう。氏は我國においていかに少くカルテル・トラスト化が行はれてゐるかについて、「積極的意見」——氏の最も得意とせられる言葉を拜借するならば——を「何等表示されなかつた。」われ／＼は、これに反して、それが、どの程度に廣汎に行はれてゐるかについて「積極的意見」を「表示」した。それは、われ／＼の同人、薄茂人氏が別の機會に精細に試みたところであ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。（薄茂人氏「所謂『國家資本主義トラスト』の批判」、「大衆」第二卷第三號、「日本資本主義發達の現段階」、「社會科學」第三卷第二號）丸岡氏は、これに對して、これでもが「幾何かのばら〳〵の事實を羅列」したものであることを實證さるべきであらう。さらに、わたしは氏に對して、いまひとつ要求しておきたい。氏によれば「英、佛等の資本主義」は「二、三十年以前に既に始つたと云つてよい」のださうであるから、十九世紀の末英國において、現時の日本において見るよりもより廣汎にカルテル、トラスト化が行はれてゐたことを實證されたい。

丸岡氏に比べるならば、高橋氏はやゝ具體的に物を云つてをられる。氏は「紡績聯合會」、「水曜會」等の資本家の聯盟が存してゐることを認められる。（しかし、氏が擧げられるところのいかに貧弱なことか！）けれども、氏によれば、これらのうちにはカルテル、トラストとしての「條件を具へてゐるものは殆んどない」のださうである。そして、氏はこの條件として、レーニンの言葉を引いて、「カルテルは、販賣條件、計算期日等を一定する、カルテルはまた相互の間に、販路を分割する、生産すべき商品の量を協定する。個々の企業家の間に利潤等を割當てる」といふことを擧げてをられる。もとより、カルテル、トラストは、仰々しくレーニンを引出すまでもなく、販路協定、價格協定、生産協定、共同販賣等の條件がなければならない。そこで、問題は我國の資本家の聯盟は果してかゝる條件を全然具へてゐないかどうかである。

手近なものをとれば、氏の擧げた五つのうちで、「紡績聯合會」、「水曜會」「石鑛業聯合會」「羊毛工業會」は明かに生産協定（生産制限供給協定）を行つてゐる。さらにこれを以外に尋ねるならば、カルテルとしては高い條件である生産協定を行つてゐるもの——僅にその一班を擧げても——は「製粉聯合會」、「糖業聯合會」（生産割當）「過燐酸肥料同業會」「鐵鑛協議會（製鋼分野協定）があり、さらに「共同販賣」をすらなしつゝあるものとしては「日本鋼管」、「釜石」、「富士製鋼」の三社による丸鋼の共同販賣のごときがある。高橋氏は、故らにこれらを讀者の眼から陰蔽してゐる。氏のいはゆる實證の粗雜、不正確は驚くべきものである。

これに對して、氏はこれらは薄弱であり、その領域が狭く、「資本主義が帝國主義に進展する前後に於ける一傾向と目

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すべき」ものにすぎないといはれるであらうか？ そのとき、わたしは、丸岡氏に提したと同じ質問を高橋氏にも出さう、――氏が既に帝國主義時代にあつたと考へられる十九世紀末の英國におけるカルテル、トラスト化はこれよりもよりいい高度に、より廣汎であつたであらうか？

しかし、氏等の議論の缺陥はその「實證」の不確實なることのみではない。氏等は「集中、集積」が根本的特質であることを知らない。レーニンが世界資本主義の帝國主義的表徴として掲げたものを、全然機械的に我邦資本主義に適用しつゝある。しかし、この點はしばらく措かう。氏等は我國における集中、集積を論じるに際して、まづ、「合同」――最近その勢を急激に早めつゝある――を問題としない。さらに、最近代の資本主義における集中、集積の最も主要なる形態であるところの資本系統による聯關――「參加」、「企業金融」、「資本團」――いはゆる三井系、三菱系等の言葉によつて示される企業群を見よ――を無視する。かくして、氏等は現時における集中、集積の過程に關する理論的考察を全く缺如してゐる。われ〳〵はこゝにもまた、氏等における「無理論さ」を見る。氏等の無理論はこゝに盡きない。「金融資本」の概念について、「資本輸出」の意義において、悉くが誤謬である。だがしかし、この根本的事實たる、「集中、集積」について、これを證したことは、以つて十分に足りるであらう。氏等が我邦資本主義の現段階を正當に把捉しえないのは、まことに、當然である。

理論なき「現段階論」は遂に無意義である！

（一九二七――四――二二）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右翼展開と資本主義の安定

薄　茂　人

一、はしがき—「右翼展　」の清算

『右翼については、北條一雄氏は「右翼の一大展開が次に必然に來るであらう」との鈴木氏の言（大衆九月號）を擧げて、我々の過大評價を責められた。では、氏によれば、いかなる意味で過大であるのか？　北條氏の論據を充分には知りえない。たゞ、氏が、我國に於ける形勢の進行のとるところの、上の如き、複雜にしてあわたゞしき開展の必然、並に所謂左右對立鬪爭の今日の發展段階、に就いての我々の見解は、必然に、所謂右翼のもはや、無産階級右翼としての存續展開が不可能になつたことを信ぜしめるものである」マルクス主義十月號）といふ意見から見るならば、次の如く解さるべきであらう。すなはち、氏によれば從來無産階級の陣營内において右翼を形成したるところのものは、いまや「無産階級右翼として存續展開」が不可能になり、小ブルジョアジーの陣營に移り去つた。ために、これがなくなつた以上、無産階級の陣營内における右翼の勢力はさまで大きくはないといふのである。だが、これは我々をもつてすれば、右翼の勢力をたゞ觀念的、概念的に減殺して、みづから慰めつゝあるものに過ぎない。

なるほど右翼の指導者、指導精神が、いまや、小ブルジョア的になつたことは氏の云ふが如くである。けれども我々はそのもとにある膨大なる勞農大衆の存在を忘れてはならない。我々がこれに意をそゝぐ限り、いはゆる右翼の意識化、その量的進展は、どこまでも無産階級陣營内における右翼の開展である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

これに對して晏然たるのは、また現實を知らざる者である。我々は我邦資本主義の（安定）を契機とする右翼の展開を當時におけると同じく、いまもなほ主張せねばならない。』（成瀨光雄氏「大衆は何にをなしたか、」―自己批判のために―「大衆」第二卷第四號）

成瀨氏の「大衆は何にをなしたか」は、「大衆」の自己批判であり、從つて同人の一人なる私の主己批判でもある。だから「我々は我邦資本主義の安定を契機とする右翼の展開を、いまもなほ主張せねばならない」と信ずるものである。

二、支配階級の一般戰略

けだし、資本主義の安定を伴ふ、帝國主義の現段階に於けるブルジョアジーの無產階級に對する一般的戰術は、第一に無產階級運動の彈壓――反動的政策――第二には、分裂政策、勞働貴族の養成、政治的、經濟的僞瞞等の、右翼助成政策である。

そしてこれは、資本主義の安定によつて、彼等の戰術は、當面右の如く規定されてある。

何故か。

資本主義の安定は(1.)無產階級の勞働條件を惡化せしめる、(2.)失業者を增加し、失業者群を膠着させる――これは、資本主義の安定を脅すところの他の諸條件と合流する――(3.)安定の特徵的狀勢――カルテル、トラスト化の進行は、金融資本の獨裁的支配へと導き、帝國主義的政策を尖銳ならしめる。

かくて、それ故に、支配階級をして無產階級運動の彈壓と、無產大衆を、自己陣營にかち奪るべく、右翼助成政策へ、向はしめる。いはゆる「普通選擧法（實は選擧權擴張）と治安維持法とを兩手に抱いて出現」したるは、彼等の、かゝる一般戰略を、端的に表現するものであり、右翼の助成政策――その重要なる政治的經濟的僞瞞政策――の經濟的基礎は、また、資本主義の安定によつて、保證づけられたところである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、右翼助成政策

支配階級の一般戰略の一つ、右翼助成政策——その重要なる政治的經濟的僞瞞政策とは何にか？

選擧權擴張——勞農黨さゑが、僞瞞に陷れる所謂普選——稅制政策、國際勞働會議に組合代表の參如、健康保險法實施、海事協同會、共濟組合事業等々々、或は田中義一の反動的三井內閣の政綱、——地租移讓、地方官公選、地方分權の確立、社會立法調査會等々々、は、具體的のあらはれである。（もちろんそればかりが目的でないものもある）

かゝる諸政策は、資本主義の安定が、固れば固るだけ、さらに深化し、擴大されることは確かである。何故ならば、支配階級にとつては、その經濟的負擔は、さまで大きなものではなくてすみ、現實に其の基礎をもつてゐるから。

で、また、かゝる諸政策は、すでに擧示したるところによつて見るが如く、多かれ少かれ新自由主義的政策の採用である。

四、新自由主義政策

言ふところの、新自由主義政策とは何にか？

一、資本主義制度を何故に改革するか、

1.生產と分配が不公平で、資本家にのみ過大に分配される。2,社會奉仕に對する報酬が不均衡である。3.各人の個性が、公正に又最善に働き得る機會を奪はれてゐる。

二、產業管理の五つの協力者、

1.企業上の能力あるもの、2.筋肉と頭腦勞働者、3.資本——企業に從事しないものから提供されてゐると解する、4.消費者、5.國家の代表者、

三、1.產業統制の形態、a消費者の產業組合、b利益分配率を限定する公共的會社、c公益的トラスト、d勞資協同組

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合等々

2. 税制問題對案、a 課税を實際の國費以上に徴收しない、b 納税者の能力——生活標準を考慮——に比例しなければならぬ、c 家族の一定生計費限度以上の收入を有するものは、必ず納税をなす、d 歳入増加をはかり社會的事業の目的に利用す、(以上英國自由黨の綱領要旨)

四、1.「私は固より現今の資本主義制度の下において社會の富が一部少數者の放漫なる慾望のために、奢侈や虚榮のために浪費されつゝあることを憤慨するものであり、又自由企業のために生ずる經濟界の波瀾によつて莫大なる資本の破壞こ勞働生活の不安が存在することを深く感ずるものである。此等の大弊害を除去すべき政策は充分に考慮しなければならぬここ勿論であるのみならず、それが即ち今後の日本において租稅、金融、産業、交通、教育、保健等の諸部門に關する諸政策の根本主義を定めなければならないものだこ信ずるのである。併しながら此等の問題を解決するために社會主義者が爲すところの主張に對して全く失望せざる、得ない。是私が社會主義の前に新自由主義を高調せんとする理由である……」

2.「所謂新自由主義は勿論昔の自由黨改進黨を復活せしめんとするのではない。政治の方法として議會を中心に置くべきことは既に何人も疑はざる所となつたのである。これからの問題は一方において此デモクラシーの政治機關の運用を進歩せしむるこ共に他方には政治の方針を確立することである」(上田貞次郎氏新自由主義の必要「企業と社會」創刊號)

新自由主義の、企圖するところは、かくて明白である。

また、彼等の改造は、資本主義制度の根幹にふれたものでないここは勿論、資本主義の協力者であり、これが防衛のためには、ファシズムの轉化へ、向はしめるここも明白である(水野成夫氏經驗的現實主義のファシズムへの轉向「マルクス主義十一月號」阿部忠夫氏産業上に於ける民主々義の獲得批判「勞働者四月號」大山郁夫氏自由主義のファシズム化的傾向

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、右翼につながる自由主義運動

だが、かゝる新自由主義の企圖、運動そのものは、現段階に於ては、さほどの重要性は持たないにしても、一定の限度必ずや達成されるのであらう。

何故に然るか。

一、ブルジョア諸國間に於ては、政治上、産業上――特に政治上――新自由主義政策の多くが實行されてゐる。この影響から、ひとりいつまでも獨立るは困難であらう。二、資本主義の安定は、經濟的負擔を可能ならしめる。三、選擧權擴張による大衆の政治的參與の機會に到達し、またブルジョア自由主義黨の運動がおこなはれつゝある。四、わが階級層の比較的多數を占める小ブルジョアジーは、その階級的本質の故をもつて、新自由主義政策に僞瞞される危險性がある。五、ブルジョア諸相間の對立、――必ずしも力の均衡を要しない――抗爭によつて助成される。即ち自由主義發展の一基礎たり得る。(それは一基礎である)六、だが、もつとも重要なことは、すでにわれらの規定したるが如く、支配階級の右翼助成政策に基く、多かれ少かれ新自由主義的政策の採用これである。一鳥二石とは、これをこそ言ふならめ。小ブルジョアジーと右翼大衆を射落すといふ意味に於て。

されぱこそ、無産階級の右翼大衆は、ブルジョアジーの一部につながる必然の連帶的諸關係にある。

六、右翼首領の役割

かゝるとき、右翼首領――大量生産されつゝある勞働貴族――の役割は、支配階級との合意、協力によつて、右翼大衆を擴大し結合し、ブルジョアジーの陣營へかち取ることが、當面の使命である。次ぎには右翼大衆を、ファシズムへの轉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

向へ導くことである。で、彼等の役割は、支配階級の右翼助成政策の援護のもとに遂行されるはもちろんながら、だからと云つて、彼等は、かれらの地位を、右翼大衆のなかにいつまでも喪失しないがためには、助成政策に於て支配階級をできうるだけ譲歩せしめねばならぬ。また支配階級を威嚇することによつて、支配階級のなかに於ける、彼等の位置を防備しなければならぬ。或は右翼大衆を僞瞞し、支配階級との合意を隠蔽するためにも、かれらは所謂ブルジョアジーの一部――新自由主義的黨――との、相つながる戰線の造營を、かれら自からが必要とする。

爾く、かれらの足場は、複雜ではある。

七、右翼の存續展開と剩餘利潤

資本主義の安定を契機とする右翼展開――その基礎――に關する、以上の簡單なる論稿は、――今は已むなき事情のため、この程度にとゞめざるを得ない――「大衆」十一月號の、私の論文「戰術の一規準としての我國資本主義沒落期の現段階」の一方面、資本主義安定の段階に於ける樣相の一斷面――無産階級右翼につながる自由主義――の一時的繁榮を一基礎とする右翼展開――に對する、高田宗一氏の批判(資本主義の安定と右翼の役割「大衆」一月號)に聽き、私の誤れるを正し、足らざるを補ひ、また同時に「左翼除外と左翼當面の問題」(「大衆」大正十五年九月號)に於て、いとも簡單に、片附けたる、「右翼展開」の基礎を、やゝこまかに規定せんとする、かねてよりの意圖をも、あはせ達成せんが爲めにほかならぬ。そして或る程度、達し得たりとは考えるが、高田氏の批判のうちかなり重要なる一點に於ては、承認できないものがある。

「右翼の存續は薄氏の云はるゝが如き、自由主義の一時的繁榮に依存するものでもないし(一基礎たる關係はすでにしるしたところではある。筆者)又歐洲戰前の如き剩餘利潤に依存するものでもない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それは資本家階級よりなされる組織的な分裂政策と、大衆の無智、無自覺に乘じて、この分裂政策に迎合する勞働官僚、だら幹の術策である。彼等は今や意識的に支配階級と握手し……」(傍點は筆者、氏の論文より)

氏は支配階級の一般的戰略は、第一に勞働階級に對する直接の壓迫――政治的――經濟的、第二に分裂政策、そしてこれは頻々と用ひられる、とされる。私もまた、然りと考へる。

だが、氏と相違する重要な一點は、私は右翼の存續、發展は、剩餘利潤にも依存し、またしなければならぬ、またそれは可能であると爲す此の一點についてゞある。

私は何故に斯く言ふか。

一、勞働貴族、だら幹の術策のみでは、右翼大衆の存續、發展を期し得られない。

勞働條件の惡化、失業者の大量生産、階級鬪爭の尖銳化しつゝあるとき、大衆は、いつまでも無智、無自覺ではゐない。吾々は、無産階級運動の陣營と、左翼の勢力その發展の條件――また戰術を、考慮しつゝ右翼並に支配階級の陣營を考察しなければならぬ。

二、「頻々として用ひられる分裂政策」は、たゞ、あるがまゝの組織內の分裂をのみ、彼等は眼ざしては居らない。

それは勞農大衆の分裂、獲得、――右翼助成政策の一つとしての分裂政策である。で、これがためには、氏の認めるゝが如く、「極く僅かばかりの讓歩によつて、被搾取階級の一部を眠り込ませ」つゝある。

まつたく、僅かばかりの讓歩だが、必要によつては、そして必要は迫つてゐる、彼等は、さらに勞農大衆をかち取り、易々ミ「眠り込ませる」政治的、經濟的僞瞞政策――指導者達が甘い汁を吸つてゐるとて、氏の擧げられた事實は、所謂新自由主義的政策ではあるが、名目はともあれ――を遂行し擴大するであらう。(それはすでに述べたところではある)

三、「戰前歐洲における右翼の運動の展開は、たしかに剩餘利潤に依存してゐた。……しかるに戰後の歐洲に於てはさう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ではない。剩餘利潤は消滅した。……我國に於ても又さうだ。」と、氏は云はれてゐるが、こゝでは、戰後の歐洲に於て、剩餘利潤が消滅したるや否やの問題を切り離すことは、此の場合、都合はない筈だ。何故ならば、所謂世界の沒落過程に合流しつゝも、世界經濟の全體系に於ける個々の國々の、生産力の發展、資本蓄積の增進は、あり得るからである。だから問題の範圍を日本に限局する。すると氏は、我國もまた剩餘利潤は消滅し、これに依存する右翼展開の一基礎はなく、だから、勞働貴族のひたすらなる術策によつて右翼の存續、展開がなされるとされるのだが、私は右翼助成政策を達成するための支出は、さまで大きな負擔を與えないであらうことばかりでなく、剩餘利潤は資本主義の安定によつて減退を見ぬ。また右翼大衆の存續、展開を現在可能ならしめるだけの力をもつてゐると考へる。一つは生産力の問題についても、言ふことが出來る。だが、之れは別の機會をもつて詳論するであらう。

八、山村氏の安定の否定

しかるに又、山村高次氏の「震手問題は何を暗示してゐるか」(「政治批判」四月號)に於て、一見資本主義の安定を承認したるかに見え、しかも巧みに否定したる、奇怪なる意見が提出されてある。かゝる客觀的狀勢に對する盲目は、かれらを必然に、右翼勢力の輕侮、右翼の存續、展開の過小評價へと導くにいたつた。

九、本論の副次的目的―震手案批判

今回の金融恐慌は、資本の急速なる集中過程として、ブルジョアジー諸相間の對立、抗爭の楔機として、また資本主義安定の地均しとして――大正九年後、産業の再組織は、かなりにはすゝんでゐたのに、金融機關はなほかゝる段階を經過して居らぬ――のみ、その立脚點より看取し得らるゝ。(モラトリアムの生産に及ぼす影響も見逃せぬ)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しかるに、「大衆」四月號「所謂國家資本主義トラストの「批判」に於て、私は四つの大きな缺陷を指摘したが、山村氏は震手問題に當面するや、「震手問題は何を暗示してゐるか」に於て、卒直に、四つのうちの二つ、ブルジョアジー諸相の對立、抗爭、矛盾の累積を認め、資本主義の安定——實は否定ではあるが——を承認せられてゐる。

これを、承認すること無しには、震手問題は、眞に理解し得られないからではある。

1.「かくまでにあらゆる階級、層より發散したる猛烈なる不平、不滿こそ、まさに現段階に於ける日本資本主義全機構が内包する深刻なる矛盾の發露でなければならぬから。

だが、我々は、未だこの點に關する明白なる分析——究明——把握に迄は到達していないようだ」

2,「震災手形の整理と金解禁とは、日本資本主義の安定にとつて、一聯の未來を約束してゐたのである。」(「政治批判」四月號、震手問題は何を暗示してゐるか、山村高次氏)

だが、氏の「震手案批判」は、技術的には可なり無難には出來てゐるが、一、震手案(政府案)提出の意圖が、すでに銀行の合同を條件とされてゐたことを見逃してゐる。二、新聞の切り拔きと、議會の速記錄を、きはめて忠實に羅列されたにかゝはらず、政府案に對する政友會の反對的態度、——銀行取付の誘導——貴族院、樞密院の驅使——金融資本との關係等——がまつたく閑却されてゐる。三だから、氏は主として鈴木商店と二、三流銀行の救濟として理解され、わざ〳〵數字をならべて、一流銀行を、問題の中心から切り離されてゐる。されば、氏によれば、三井(政友)三菱(憲政)が、その渦卷のなかにあつて、いかなる役割を演じたるかは、到底氏の看取し得ざるところであり、これこそ、重要な觀點でなければならぬ。(以上氏の執筆せる三月廿二日迄の狀勢に基く)

一〇、安定の否定

もちろん、この論文に關する範圍に於ては、氏の震手案批判に見らるゝ缺陷は、すでに指摘せるが如く、一見承認され

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るやに見ゆる資本主義安定の否定これである。

「世界の資本主義の最近に於ける安定――勿論相對的ではあるが――に如實に「合流」するものであり、即ち日本資本主義の尠く共一時的安定の招來を意味する」（山村高次氏「震手問題は何を暗示してゐるか」「政治批判」二月號）

一應は、かく承認される。一應にせよ、それは、氏の一大進展ではある。

だが、氏は、直ちに否定（絶對的）の準備の筆をすゝめられる。

金融緩漫、その基礎の弱點、銀行破綻――名目價値の維持――不景氣――金融緩漫の理由――整理合同――（前掲の二一頁より廿三頁）等々、否定への諸條件？ に、彩筆を揮はるゝも、われらの凡庸なる經濟智識をもつては、何度讀みくだしても意味が理解できない。「コール翌日拂ひ一錢を割り」――吾々の凡庸なる智識の、解する範圍に於ては、コールマネー翌日拂で、一錢臺を割つたのは、大正九年七月から十年七月迄である――といふわけで、これが誤植ならば、おそらくは、右の個所には兩手にあまるほどの誤植、誤文があるであらう。それはともあれ、かくて、氏はみごとなる安定の否定に到達される。

「かくして最近に於ける、我か資本主義安定の型は、生産力減退、資本蓄積停止の下にあつて、進行する資本の集中、その金融資本統制の傾向に求めらるべきである」（前掲）

二、安定と生産力の問題

「もし、資本蓄積が不斷に增進し、生産力が上昇するカーヴを以て旺盛に向つてゐる資本主義の正常的時代に於ては、鈴木商店の破綻や、二三流銀行の破綻は、敢て恐るゝ所ではないであらう。恐慌の一時的混亂の手術を經て、資本は集中せられ、かくて生産力はまた一段と躍進したであらう。……現段階に於ては、恐慌の一時的混亂と雖も、それは資本主義にとつて『死』の危險を意味する」（前掲）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「死の危険」――こゝに、かれらの觀念的沒落理論の分泌物を見る。だが、それはともあれ、その後、いくばくもなくして、鈴木商店を破綻せしめ、二三流銀行を破綻せしめたではないか。氏の認識のいかに確かなることよ。

だが、以上の氏の見解の誤謬は、一わが資本主義安定の本質を理解されないが故に、わが生産力を觀念的に總體的減退として認識される。二「資本主義の正常的時代に於ては云々」の如く、氏の理解は、公式主義の理解にとゞまり、かくて安定を正しく把握し得ざるが故に、否定と同一の理解に沒入される。

だがこゝでは批判を簡單にするために、(安定問題は、約一ヶ年に亘る調査欄參照)近年の生産增加の統計を示す――豫めことはつて置くが、名目上の生産價格の增進だなど、、素人にはわからぬ經濟理論や、泥靴で一蹴しないことだ。

生産額增加表(第二次商工省統計表)

品名　單位	大正三年	八年	一二年	一三年	一四年
紡績(千貫)	八七、八一六	九二、五八二	九一、四五六	八八、三四九	一〇九、九二三
絹糸(同)	一九九	八九九	九九三	一、一五五	一、〇五八
麻糸(同)	一、五六一	四、三一九	二、五九一	二、〇六八	二、三四八
綿織(千圓)	―	―	六九四、三一九	七四五、八二八	七七四、三七二
絹織物(千圓)	―	―	四〇五、一五〇	四二五、七二四	四一三、七九四
交織(同)	―	―	四九六、九六七	五一七、二五七	四九〇、三四二
麻織(同)	―	―	二八、三八四	三四、五九九	三〇、八九三
毛織(同)	―	―	一八〇、四八四	二〇二、三九〇	一八二、四八一
特殊織物(同)	―	―	二七、九二七	三一、三八一	二七、二〇一
莫大小(同)	―	―	四七、二二八	五四、三五〇	六二、二六一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陶磁器（千圓）	一七、五三二（大正4）	六四、六五九	六四、七四〇	六八、五三三	七八、一七七
硝子製品（同）	一二、二一五（同）	六四、三五九	四〇、九四七	五二、五三八	五〇、五四一
和紙（同）	二二、三九五（同）	七九、五七四	五〇、四四八	五三、四三六	五三、〇一〇
植物油（同）	二〇、四七五（同）	六一、八三九	三九、五二〇	四〇、五九一	四五、四一八
肥料（同）	四九、四三一（同）	二〇四、一四九	一三八、八六九	一四九、七五八	一七八、六六六
砂糖（千斤）	一二九、九四一（同）	一五二、一四四	一三〇、二二二	一六九、三六七	一五二、五二一
罐詰類（千圓）	四、八四六	一六、五三五	二一、七六一	二二、七三〇	二〇、七三四
木製品（同）	—	—	一六五、九五八	一七一、一六〇	一八一、〇六一
セメント（千樽）	四、三五一（3）	六、一一九	一一、〇四六	一一、四八六	一三、三二七
西洋紙（千封度）	二〇八、三三一（同）	九四二、五五八	八七二、八二二	九四〇、六九一	一、〇七九、〇二二
工業薬品（千圓）	一五、三四六（同）	六八、五二六	四七、七一一	六〇、五二七	五六、五〇九
小麥粉（千貫）	六〇、三七二（同）	七七、六五四	一二四、九九九	一七九、三九四	一七三、九四五
ゴム製品（千圓）	—	二六、四七九	四七、〇八二	五一、九四六	五五、六三〇
窯業鑛區（千坪）	六一六、四三二（4）	八三一、五六七	六七二、六三〇	六六〇、三三八	六三三、〇二二
金（千匁）	二、二一一（同）	一、九三八	二、〇五〇	二、〇二六	二、二五六
銅（千斤）	一二五、六九二（同）	一三〇、七三八	九六、八四二	一〇二、二二二	一〇七、八一三
鐵（千佛噸）	八二（同）	二二一	六九、四五八	六五、二六九	七九、六四九
石炭（同）	二〇、四九〇（同）	三一、二七一	二八、九四八	三〇、一一〇	三一、四五九
原油（千石）	二、五六三（同）	一、九六三	一、五七六	一、五七九	一、六三七
銑鐵（千佛噸）	三一七	五九五	五九九	五八五	六八五
鋼材（同）	三四二	五五二	八一九	九〇五	一、一〇二

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一二、暗闇の暗示―結語

かゝる認識のもとに、しからば氏は、震手問題より、「何を暗示してゐるか」資本主義の矛盾の尖端に、自からの安定を維持しつゝ、「安定の全對立物の不平を爆發せしめるところの政治問題」に於ける、暗示とは何にか。

「渡邊、中井、中澤、左右田銀行破綻の波紋は何處まで擴大するであらうか。震災の被保險者が全額要求の聲を叫ぶとしたら何うであらうか。更に、横濱に於ける燒失生糸の損害者が同樣國家的保護を要求しはしないであらうか。全罹災民の同樣なる要求が起らないであらうか。更に更に、全貧困大衆の同樣なる要求が起らないであらうか」(前掲結論の要旨)次ぎには、「遂には動亂に導き國家を危くする、さうなりはすまいか……」と、新聞の切拔きをして、斯く言はしめてゐる。

氏の暗示は、みごとはずれた。何故にか。氏のあらゆる狀勢に於ける認識が、はずれたるが故に。

× × × ×

さもあらばあれ、資本主義の安定を楔機として、支配階級の彈壓政策と右翼助成政策の兩翼のもとに、右翼は展開しつゝある。

かゝるとき、吾々は、資本主義の現段階――また安定――を正しく認識しなければならぬ。

いたづらなる觀念的沒落理論の陶醉から醒めねばならぬ。

かくて又、右翼の勢力を觀念的、概念的にのみ減殺することや、○○の暗示によつて自からを慰むる快樂を止めて、安定の相對的矛盾の尖端に躍動する、生々とした眞の政治問題をとらへつゝ、右翼との大衆的鬪爭へ進擊しなければならぬであらう。(四月十八日)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヨットと斷頭臺

田口運藏

レーニングラードを流れてゐる大きなネブ河をはさんで、冬宮とセントポール寺院がそびゑてゐる。私には、この二つの建物が、なんだか社會主義革命と切りはなすことの出來ない深い因緣があるやうに思はれてならない。

ツアー王朝の冬宮が、赤レンガの建築であるばかりでなく、その外廓までが赤色に塗りつぶされてゐる。赤色は社會主義のシンボルである。それは決して革命後に塗られたものではなく、昔からの色そのまゝであるのだそうである。

セントポール寺院は要塞內に在る。その要塞の內に、あの有名な牢獄——政治重大犯人ばかりをぶち込んだ牢獄がそこに在る。そしてこの寺院こそはツアー王朝の祖先代々の靈が祭られてある。ツアー王朝の專政に徹底的に反逆した政治犯人——死刑囚——のみが入れられた牢獄、それが王朝の陵と同居してゐるのである。あれ程に狂的迷信家が、保守的な頑迷固陋のツアー王朝が、どうしてこの二つのものを同居させて訝しまなかつたかを訝しまざるを得ない。

ツアー王朝の專政時代には、この牢獄にぶち込まれたが最後、再び社會に生きて出たものはなかつた。がたゞ一人クロポトキンだけは救かつた。それはクロポトキンは貴族の出身だつたので、親籍關係の人で當時の王朝の要職にあつた人の手配により、他の牢獄に移さるゝ途中、同志の手によつて掠奪さるゝ手筈が計畫され、それが運よく成功したからだといふのである。

だが、一九一七年にツアー王朝が顚覆され、ケレンスキー政府が組織された時に、一度この牢獄は解放されたが、暫くして今度はボルセウヰキの多くの首領連がぶち込まれた。コロンタイ夫人、トロツキーなどを筆頭として、多くの活動的指導者達が一時にぶち込まれたのであつた。そしてこれ等ボルセウヰキ指導者達が、或る條件付きで——ケレンスキー政府とある交換條件で——出獄すると、三日ばかりでケレンス

キー政府は崩壊して、支配的權力は完全にボルセウ井キの手に握られた。

『昨日までボルセウ井キの首領連を投獄した牢獄は、赤旗を屋上に揭げて今日はこゝに、ケレンスキー政府の閣員がぶち込まれてゐる』

これは、ジョン・リードのその當時のスケッチに書かれてゐる。

でも、それはツアー王朝時代とは異つて、牢獄といふよりは、寧ろ禁足とでもいふやうなもので、たゞ外界との通信交際を許されないばかりであつた。ボルセウ井キの首領の殆ご全部は監獄の味を知らぬものはなかつた、といふよりは、ツアー王朝の監獄で『人間としてあつかわれなかつた』苦しい經驗の所有者ばかりであつたから、特に監獄を徹底的にデモクラライズしたものらしい。

私が、初めてレーニングラードに着いたのは、一九二一年の春五月十日であつた。

私は、アメリカでも、またドイツでも、クロンスタットの反動革命についての通信記事を、多くのブルジョア新聞で讀んでゐた。それによると、ペトログラードは無論のこと、モスコーまでも反革命軍の手に落ちたといふのであつた。私はもとよりブルジョア諸國の逆宣傳の流言蜚語が、かく出鱈目な通信を拵え上げるのであるとは、知つてはゐてもあまりの大げさなので、或はとも思つてゐた。

レーニングラードに來てみれば、極めて平安な、嵐のあとの靜けさであつた。クロンスタットの騷動について尋ねてみたが、それは、一時はこのペテログラードでも物騷であつたらしい。けれども、それは少年及び靑年團の手で容易に平定されたといふのであつた。その頃、南部ロシャとシベリアでは反動革命軍が猖獗なので、赤衞軍の殆ご全部はその方面に出征し、ペテログラードには少しの守備兵もゐなかつた。が流石は革命の搖籃地の少年で、少年義勇軍の手でなんなくい止めたものだとのことであつた。そんな場合でもあつたから、勿論幾多の尊い犧牲は拂はれた。この騷動の原因は、佛、米等の資本家の手先があやかつたからでもあるが、ヨーロッパの新聞記者も澤山に、それに直接關係してゐたことが明かになつたので、その頃は、如何なる個人的にはプロ・ボルセウ井キ記者でも、その新聞がブルジョア新聞であるならば、一切入露の許可は與へられなかつたほごであつた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

恰度その頃であつた、私がレーニングラードに行つたのは、コムミンタンの諸星に迎へられて私はホテル、インターナショナルに投宿した。このホテルは、ツアー時代にはホテル、アストリアといつて、第一流の貴族的なホテルであつたといふことである。

アメリカで同志であつたSといふソヴエットの委員に案内されて、セントポール要塞を見物に出かけたのはたしか五月の十五日であつたと思ふ。

要塞の郭内は、國立博物館に附屬し、寺院と牢獄とは參考資料として一般參觀者に自由に提供されてあつた。

寺院は典形的なグリーキカソリック式な、金と銀とでピカ〳〵光らせたものばかりで、私にはあまり面白いといふ何物も見出せなかつた。

が、入口の小さな健物に安置されてゐた古い木造の一つのヨットが私の目を惹いた。これは、ロシヤを統一したツアー王朝の首都をこの地にトしたピーター大帝の手製の小船で、大帝はこれで夏のネブ河を折り乘り廻したものであると、これには說明書がはられてあつた。勿論これは、原始的なものではあらうか、この趣向といゝ作り方といゝ決して素人ではないやうに思はれた。

牢獄は、すぐこの後に小さな入口を表はしてゐる。外部からみてはさほど大きなものと思へないが、內に入るに從つてびつくりする。全部厚いセメント張りの、極めて冷たい陰氣な地下室みたいに建築された二階建である。もと〳〵、この邊はネブ河の堤のすぐ眞下に當つてゐる濕地であるからでもあらうが、例のロシヤ式のセメント張りであるので、常に冷や〳〵しいいやな臭氣に滿ちた、文字通りのロシヤ牢獄を感ぜしむるに充分なものである。

一間ほどもある厚いセメント張の壁にしきられた監房は、大抵獨房で、しかも室は可なりに大きい。日本の間取りにしたらば十疊しきほどのものばかり、それが上下で四十室ばかりある。Sは昔の先輩がこゝに殺された話をしながら、

『……壁がこんなに厚いやうだから、これを握りこぶしてコン〳〵と打つその暗號で、次から次の室へと話しかける。そして互に慰めたり、計畫したりしたものだそうだ』と、彼は右手のコブシで壁を打ちながら、この反響の妙な音に自ら頭を傾けながら感心してゐた。

そして、どの室の壁もペンや鉛筆で落書されてゐる。これ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

等は全部ボルセウ井キの天下になつてから投獄された反動家、或はケレンスキーを支持したメンセウ井キの人達がたいくつまぎれに書きつけたものらしい。Sは二十四號かの室で、落書された山水の鉛筆畫を指して、

『これはメンセウ井キの〇中將の書いたもので、彼は今では赤衛軍の教官です。よく出來てゐるので有名になつてゐる』

と説明した。が、多くはボルセウ井キの惡口や漫畫で占められてゐた。それから、小さな鐵のベツトと、室の一隅に堀られた小　な便所が、いかにもなにものかを物語るやうで胸がふさがつて來た。

Sは、氣味の惡るい笑をたゞよはせて、薄暗い汚ない裏への出口に私を案内して行く『これから面白い處へ行くのです』といつて、突然屋外に出た。

青い空の色、すが／＼しい空氣、私はやつと氣持がよくなつた。そこには、春草がいかにも勢よく三四尺位いに茂つてゐた。

Sは、細い路を早く／＼といつてドシ／＼いそいで行く、私は一體何處へ行くのだらうと、あやしみながらついて行つた。

『これだ！』

とSはいつた。が私には一目して、それが何であるか想像することの出來ない、たゞ單に平凡な木造の大きな厚い臺に過ぎなかつた。それは、五尺程の高さのもので、雨風にうたれた、相當に古い年數を經たものであることだけは判つた。

『これが斷頭臺です』

Sが説明する瞬間に、私の胸は言ひがたい感じに滿された。臭がする。涙が出る。齒は自然にくいしまつた。

『こんなに草が茂るのも、昔の血がいまだに肥料となつてゐるのです』

『革命家の血を吸ふて成長する草ですね、ではブルジョア草と名をつけませうか』

『これはあまり慘忍性を表現して、弊害があるといふので來月頃には取り去ることにソヴ井エツトで決定されてゐます』

と、Sはこれで説明終りといつたかつこうで、煙草に火をつけた。

『無心のこの斷頭臺はロシヤ革命をなんとみてゐるだらう？あの木造の小さなヨツトがこの地をペトログラードと名命したのであつた。そしてこの斷頭臺がレーニングラードと地名をかへさせた遠因であつたかも知れない……』

私は目をつぶつてゐる内に、こんなことを考へさせられた。（二七—四、一三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査資料

資本主義安定の諸問題（三）

目次

一、貿易の改善
A、貿易の著しき改善、B、全製品の輸出增加、C、對支貿易の恢復、D、貿易外收支勘定
二、國際爲替及圓價恢復
A、國際爲替安定、B、圓價恢復、C、國際貸借勘定（以上前號）
三、生產力の增進、
A、世界生產の增加、B、我國生產力の增大、C、資本蓄積の增進

世界の生產の增加

世界の生產は、一九二五年（大正十四年）を轉期として增大しつゝある。

これは、一、資本の有機的構成の向上――生產裝置の再組織、二、世界資本主義全體系の生產力の增大を意味する。ここに世界の生產が、いかに增大したるかを示す。

	一九一三	一九二三	一九二四	一九二五
石炭（百萬輕噸）	一、四四三	一、三三五	一、四九四	一、五〇八
內、英國	三二一	二八二	二九九	二七六
獨逸	三〇五	一八〇	一四六	一六一
米國	五七〇	五八一	五七二	五八五
銅（千英噸）	九八〇	一、二一五	一、三六三	一、四二七
內、米國	五四八	六六〇	七四〇	七八七
南米	七〇	二一四	二三四	二二五
アフリカ	二〇	六二	一〇五	一二〇
歐洲諸國	一一六	八〇	八四	一〇〇
銑鐵（百萬英噸）	七七	六八	六六	七五
內、米國	三〇	四〇	三一	三六
獨逸	一九	五	九	一一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛國	五	五	七	八
鋼鐵(百萬英噸)	七五	七六	七七	八八
內、米國	三一	四四	三七	四五
英國	七	八	八	七
佛國	四	五	六	七
造船(百萬噸)	四二	―	五七	五八
金(百萬弗)	四五九	三七九	三九八	三九四
銀(百萬オンス)	二三一	二四六	二三九	二四五
原油(百萬バレル)	三八三	一、〇一八	一、〇一二	一、〇六五
生糸(百萬封度)	五六	六七	八六	―
人絹(百萬封度)	―	―	一四一	一七〇
羊毛(百萬封度)	三、二三二	二、七一九	二、八〇六	二、八九二
砂糖(千噸)	―	二三、六二六	二四、三八四	二三、二一七

備考、石炭はコムマースイーアブック、原油はエコノミスト誌、銅はコムマーシアル・ヒストリー、銑鐵等はアイロン・トレード・レビウ、スタチスト、羊毛、生糸等は主として米國政府發表のもの、砂糖はシユガア・トレード・ジヤーナル誌に據る、造船は各國の所有噸數を示す。各國別の內譯は、主なるものを示すに止めてある。

或は又、貨幣態資本の動員による、新投資について、英米佛を見ると、佛國を除けばいづれも每年增加しつゝある。

英國などは、炭坑罷業の影響に支配されたる、一九二六年ですら、エコノミスト誌によると、會社總數千五百七十二社の純益は、前年より六分三厘、一九二五年は又、八分四厘を增してゐる。

證券發行額(新投資)

	一九二三	一九二四	一九二五
英國(百萬磅)	二八六	二四二	三四三
米國(百萬弗)	四、九八九	六、三五二	七、一一八
佛國(百萬法)	二一、七三九	一三、二四四	一〇、三二七

備考、1、英國スタチスト誌但し借換を含まず、2、米、佛はクロニクル誌に據る。

我國に於ける生產力の增大

我國の生產力もまた增大しつゝある。これは一、生產の整理――過剩資本の縮少、二、過剩商品の減退、三、生產裝置の更新と改善――戰時用品生產の再組織、四、購買力の恢復――特に輸出貿易の恢復、五、生產裝置の新たなる擴張、六、信用政策の改善、七、世界資本主義の安定等によつて、實現されたものである。

我國生產の增加

	大正一二	一三	一四	一五
綿糸(千梱)	二、一七一	二、〇七二	二、四三六	二、六〇七
綿布(百萬碼)	一、〇〇〇	一、〇三〇	一、一七九	一、二七七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

生糸(千梱)	三〇五	六六六	七三九	七九〇
毛織物(千碼)	一〇、〇七八	九、六八七	一〇、〇三九	一〇、二七八
モス(同)	一一六、三五八	一一七、〇六三	一三一、一一四	一三三、三三〇
洋紙(千封度)	七三九、五〇八	八一七、三八三	九三二、七七二	一、〇三九、七五八
セメント(千樽)	一三、〇一七	一三、七七九	一四、五五八	一八、六〇九
出炭(千噸)	二八、九四九	三〇、一一一	三一、四五九	三一、四八五
石油(千石)	一、五〇五	一、五〇三	一、五三七	約一、四五〇
護謨(千封度)	四、六四〇	四、四七	四、五七八	五、九五五
過燐酸(千貫)	—	一六二、〇八〇	一八九、一六七	約二〇〇、〇〇〇
製粉(千袋)	二七、九四三	三二、一四七	三一、九三四	三一、四七六
製糖(千擔)	七、三八七	七、七八七	八、一一三	—
銅(英噸)	五九、四三二	六一、五三四	六三、一一三	六三、三七五
鋼材(千佛噸)	八一九	九〇八	一、一〇三	一、三三三

備考、綿糸布は紡績聯合會、生糸は入荷高、石油は原油、ゴムは七社の産額、製粉は概算、製糖は臺灣、なほ十五年度を採錄するため に、主として「ダイヤモンド」の附錄第七號に據る。

だが、一、各産業はその生産設備の、全能力を運轉してはゐない。なほ休態設備を、若干は擁しつゝある。二、増加の割合が各産業個々に、それぐ違つた比率を示してゐる。なほ商工省工場統計表(昭和二年三月發行)に據る生産の増加をもあはせてこゝに採錄する。(單位百萬圓)

	大正三年	八年	一二年	一三年	一四年
紡織産業	六二〇	三、二九五	二、五八六	二、九二五	三、二一五
金屬工業	四七	三三八	三一七	三七八	四二一
機械器具	一一〇	七一六	三九二	四四七	四五八
窯業	三四	一七五	一八一	一八〇	一八一
化學工業	一七五	七七六	六七三	七二九	七五七
木工産業	二七	一五七	一九五	一八〇	一七五
印刷産業	二六	六六	一〇九	一四六	一六三
食料工業	二一九	七四〇	九五八	一、〇八二	一、〇九七
電氣瓦斯	二五	六六	九七	一〇六	一〇八
其他	四六	二〇一	二三一	二〇九	二〇四
加工修繕	三五	二〇一	二三五	二三七	二四七
合計	一、三七一	六、七三七	五、九七八	六、六二四	七、〇九二

さらに、新たなる投資を見る。左表の如く、貨幣態の資本が、生産資本へ轉化されつゝあるを見る。十億より十三億、十三億より十六億七千萬圓と、増加し、生産資本へと、投げ込れてゐる。一、電力、運輸、化學、窯業、金屬、水産、農林、瓦斯が頭をもたげ、二、保險、紡績、造船、食料、商業が振はない、三、此のなかには、固定資本を動産化する——整理——を目的とするところの社債も相當には含れてゐる。

銀行會社計畫新資本調(日銀調査、單位百萬圓)

	大正一三	大正一四	大正一五
銀行	四二	二〇	四〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

信託	二四	八九	七〇
倉庫	一	七	一一
保險	—	九	—
運輸	一九三	二九八	三六七
鑛業	一二	二〇	四〇
電力	一九	三〇〇	四五八
瓦斯	一三	三〇	六五
紡績	一五	一七	一〇
製織	一七	六四	三九
化學	二〇	四二	一〇七
機械	一三	一一	二九
造船	一八	一六	一〇
窯業	三一	一三	八〇
金屬	四	五	二一
食料	四九	四一	二三
雜業	三一	三三	一八
水産	一	七	一二
農林業	四	六	一七
商業	二三〇	一九〇	一三四
計	一、〇〇三	一、三三〇	一、六七八

資本蓄積の増進

擴張再生産過程に於ける生産の恢復——生産力の増大——は、同時に蓄積の増進しつゝあるを見る。（こゝでは人口その他の問題を暫らく預つて置く）。

株式會社拂込資本及積立金總額

	大正一一	一二	一三
	百萬圓	百萬圓	百萬圓
鑛業	八三二(三、二三七)	六五三(三、四三〇)	七二五(三、五三七)

製造工業	三、五三四(五〇二)	四、二九八(五九八)	四、四一八(六一九)
商業	四、四九三(六〇三)	五、一六七(六五三)	五、三七五(六六四)
運輸	八二四(六〇三)	一、〇六八(六四五)	一、一六三(六五九)

備考、括孤内は、參考のため一社當りの平均資本金並に積立金額を示す（單位千圓）、社債のうちには、蓄積過程より除外しなければならぬものもあるから、こゝには全部を加算せず、

なほ參考のために、各産業部門の、純利益率を左に示す。利益率が生産の増加の比率に伴はざるは注意すべきである。

（一九二七、四、一五）

事業會社純利益率

	大正一二	一三	一四	一五
	割・分厘	割・分厘	割・分厘	割・分厘
紡績（五〇社）	二・二一	二・四八	二・二九	一・六〇
毛織（五社）	—	二・〇七	一・九一	一・一五
セメント（六社）	三・八五	一・三八	一・一八	一・六九
炭鑛（四社）	—	—	一・一一	一・〇二
石油（日石）	一・三五	一・五〇	一・五〇	一・一〇
護謨（七社）	・五四	・二九	一・七三	二・一五
肥料（四社）	一・五九	一・七七	一・七二	一・八六
製粉（二社）	二・〇一	二・七一	二・三七	二・四二
麥酒（三社）	三・八三	五・二一	四・五八	三・九六
製糖（七社）	二・四七	二・七二	一・九三	一・三一
製鋼（九社）	—	—	—	・三九
金屬（一三社）	・四〇	・三六	・四〇	・三九
電力（二一社）	・九一	・九八	一・〇三	一・〇七
軌道（二七社）	一・一九	一・〇七	・八六	一・一一
海運（三社）	・七八	・八七	・八〇	・八三
保險（一六社）	一・五〇	一・二八	一・三六	—

備考、金屬以下五部門は、株主配當率である、紡績の十五年度は上期、毛織の十四、五年度は概算である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國內戰線

日本勞働組合同盟大會

昨年十一月勞働總同盟から分離して出來上つた日本勞働組合同盟は、四月十、十一の兩日、第一回全國大會を開催した。代議員百九十六名、大正十年當時の總同盟を退いて以來、初めての東京の舞臺に返り咲きした棚橋小虎氏の指令の下に、本部の報告について、

一、さきに評議會を脱退した東京北部支部合會

一、總同盟の東京革工組合を脱退した關東革技工組合

一、東京金屬組合組織準備會

一、日本紡績勞働組合(關東紡績の變形)

の四組合の正式加入を承認し、中國々民黨駐日總支部並に友誼團體の祝辭、麻生久氏の政治部報告あつて左の議事に入つた。

一、青年前衞隊組織に關する決議案

二、婦人及幼年勞働者の夜業禁止並に寄宿舍制度改廢に關する件

三、勞働組合法に關する件

四、組合同盟と日本勞農黨の關係並に組合同盟關係の黨役員に關する決議案

五、日本勞働總同盟運動方針排擊の件

六、評議會及統一運動同盟運動方針排擊の件

七、組合同盟の敎育運動方針確立に關する件

八、日本勞農黨積極的擴充に關する決議案

九、日本勞農總聯合積極的擴充に關する決議案

十、支那國民政府即時承認の件

十一、健康保險法對策に關する件

十二、組合同盟綱領規約、全國大會

十三、全國勞農組合會議提唱の件

十四、無產階級運動暴壓諸法令撤廢の件

等を可決した。右の內、最も注目に値したものは、十三の議題であつた。が惜しむべし、新中央委員一任となつて保留されてしまつた。それは少なくとも否決されたと同様な結果となりはしないだらうかと思はれる。最後に、緊急動議として鈴木勞働代表の出發の際になした階級的裏切り行爲を、國際勞働會議に送る抗議文を決議した。

宣言(要旨)

現在資本主義の陣營は一時的に安定してゐるが、支那國民革命の發展、軍縮會議の開催等は、いづれも一時的安定の不安とむじゆんとに充されてゐることを示してゐる。

我國無產階級運動に課せられたる使命は、無產階級陣營統一による經濟的鬪爭と、政治的鬪爭の指導的精神である。

我等は、我國資本主義の現段階に直面する經濟鬪爭には多くの困難のあることを否定しないが、この困難をこく復することが、即ち我無產階級運動の行くべき道を發見する唯一の力法であることを信ずる我々は、左の如く運動方針を決定して組合同盟成立の意義を確立せんとする。

一、組合同盟は階級的立場を嚴守して經濟的搾取と、政治的强壓に對抗することによつて、わが無產階級運動の指導方針を確立する。

二、かくて經濟戰線に於ける鬪爭により未組織大衆を階級的に組織する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、勞農總聯合の擴充をもつて、全無產階級の闘爭力を階級的に結成して我等の闘爭力を集中する。

主　張

一、日本勞農黨の積極的支持

二、八時間勞働及び一週四十八時間制度の實施　但し鑛山勞働は坑口交替六時間一週三十六時とす。

三、最低賃銀の設定

四、幼年及び婦人勞働者の夜業禁止並に寄宿舍制度の改善

五、治安維持法その他無產階級運動暴壓法令の撤廢

六、メーデーに全國的休業

七、支那南方政府の即時無條件承認

新役員

會長　棚橋小虎

主事　望月源治

中央委員　藤岡、岩內、山根、笠島、細谷、小松原、鹽田、加藤、上原、今村倘ほ、第八議案は最もよく本組合の保持する理論を表明したものと思はれるのでこゝに全文を載錄する。

日本勞農總聯合

積極的擴充に關する決議案

我國に於ける勞働組合運動統一の努力は、大正十三年度總同盟大會の宣言によつて初めて具體的な方面を考へられた。同宣言は、過去に於ける勞働運動の經驗と特に又、大正十一年の全國總聯合創立大會決裂の經驗を批判することに依り、總同盟が階級的指導精神を擴充し、以つて勞働組合の全國的合同を實現せんことを宣明した。思ふに、我國勞働運動の特徵は、その組織が極めて分散的なことである、かゝる狀態は我國資本主義の特殊な發展に昭應するものである。歐洲大戰を轉期として、飛躍的發展を遂げたる我國の資本は、勞働組合の急速なる自然壓成的勃興を伴ひ、この闘爭はこの分散的孤別的組織を以ても尙ほ、或る程度の勝利をかち得たのである。この期を特徵づける第二の點は、かくの如き分散的孤立的なる組合が、先進諸國で成熟せる種々なる思想形態に浸され區々たる指導精神を持して相對立せることである。實にそれは勞働運動に於ける群雄割據の時代であつた。だがかゝる狀態は、大正九年以來全世界を襲へる經濟的恐慌と之れに伴ふ資本の攻勢に直面するやも早や存續することが出來なくなつた。賃銀の低下勞働時間の延長、失業群の增加、換言すれば極度の勞働不安が現れ、爭議は益々苦境に追ひ込まれるに至つた。更に又資本家の階級的結成は次第に促進せられ、政治的彈壓は我々無產階級に加へられるに至つた。かくて、從來の分散的勞働組合は全く無力であることが立證され組合運動統一化の氣分がこゝに現れ、全國總聯合創立大會はかくの如き大衆の要求を代表せるものであつた。然し乍らこの試は客觀的情勢の未熟と組合指導者間に於ける狹隘なる利己意識のために遂に完全に失敗に了つた。

然し乍ら勞働運動統一の必要は爾來益々切實に感ぜられ我國勞働運動の中心勢力たりし總同盟は自を解體しても此の使命を遂行せんことを宣明するに至つた。然るに其後半歲大正十四年總同盟の分裂によつてその傾向は破綻せしめられ、無產階級の陣營は新たなる對立關係、謂ゆる左右兩翼の對立抗爭を現出するに至つた。

評議會の脫退は、之を發生的に見るならば明かに大正十三年度大會宣言に對する原

案派と修正派との分裂である。大正十一年無産階級運動の方向轉換が宣言され、爾後三年間『現實派』『大衆的』なる標語の下に總ての政策が遂行された。然るに此の方向轉換道程は、その內部に於て、支配階級の欺瞞的政策に迎合し無産階級の利害を裏切らむとする日和見主義的分派を發生せしめた、此の分派は又總同盟中心主義に陷入り全日本の勞働組合統一に對して消極的になりつゝあつた。然し乍らかゝる日和見的分派に反抗して起ち、自ら別個の組織を持つに至つた所謂、左翼は、空漠たる革命派に立脚し、而も觀念的分派運動の結果は常に利己的運動へ墮するに至つた。大正十四年十月以來評議會によつて企てられたる、地方及び全國組合會議の結成運動は、十五年秋に至り全國組合會議に於いて完全に失敗した。實にこの會議は全國に散在せる分立的勞働組合の現狀を無視し、然も之を自己の勢力の下に置かんとする左翼と、この左翼との對立抗爭のうちに自ら極右翼化せる總同盟右翼老幹部との醜惡なる抗爭舞臺と化したのであつた。全國的統一と產業別整理のためには自らの解體を辭せずと言明せる左翼はその後の試錬によつて勞働組合運動を分裂に導き、運動の全體的統一を阻止する者たることが曝にされたのである。かゝる極右翼との對立鬪爭は無産政黨組織運動の發展と共にいよいよ激烈化し、複雜化しきたつた、我國の資本主義は大正九年以來の不景氣を通して益々集中的に發展し、無産階級運動に對する脅となり、無産階級の鬪爭形式はかくて一大變化を要求さるゝに至つた。資本主義の全般的攻擊に對する鬪爭は政治鬪爭によりてのみ可能であることが實證された。かくて無産政黨の組織運動は、大衆的要求の中心に劃策さるゝことゝなつた。

然し既に分散されたる組合運動の狀態の故に他方又、支配階級の意識的分裂政策の故に、單一政黨は遂に實現され得なかつた。政治的意見の相違は、激烈なる內部鬪爭を換起し、分散的に對立せる組合關係は、此の內部的鬪爭の主體となつて對立した。農民勞働黨結黨以來の大混亂は、數個の政黨を發生せしめ、在來の分散的組合運動の各々の形態と密着するに至つた。今日の組合運動の狀態は、政治運動を中心とせる分散狀態に轉化し、分散的形態は更に又強度に意識づけられてゐる、かくの如き現狀を以てしては全國組合運動の全體的統一は單なる主觀的要求以外に何等の可能性をも持たない。

小兒病的左翼と、日和見主義的極右翼との對立抗爭によつて導かれたる無産階級運動の極度の混亂をついで我が組合同盟は生れた。我等は生るべき必然性をもつて生れた。總同盟の內部に在つて戰へる隱忍の時日こそは、我々自身の發展過程であつた。總同盟並に其他の諸團體が、資本主義の諸條件に照應して、無意識的にもしろ組合運動の統一への過程をたどりつゝあることを我々は信じた、我々は組合運動の統一を組織の內に求めたものである。

一、關東勞働組合會議への參加

二、農民勞働黨への參加

三、勞働農民黨への參加並に全國組合會議への出席

右三項に對する我等の努力は、我等の意圖を裏書きするものである。然し左翼の分裂的利己政策を口實として一切の階級的立場を否認し以て支配階級の懷柔策に迎合せんとする總同盟の右翼幹部は除名其他の彈壓手段を以て我等の努力を阻止せんとするに至り、總同盟の全體的統一への發展性は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全く失はれた。硬死せる總同盟の形體を破つて我々は更生した。然も現下の無産階級運動は勞働組合の統一を求むることいよ〳〵切である。この大衆的要求の實現こそは、我が組合同盟に課せられたる歷史的任務であり、この任務は又誤れる極左翼との小兒病的左翼に對する鬪爭を通じてのみ實現し得る。分散的不統一の廢跡の上に、日本勞農黨の結成を直接の契機として、我が組合同盟は踏出した。左右兩翼の破壞的抗爭によつて、稍極化されつゝあつた勞農大衆は、憤然として我等の擧に應呼して立つた。かくて日本勞農總聯合は斷じて中間的折衷的形態ではなし、左右兩翼の破壞的指導精神を否定して生れたる、第三の意識的鬪爭組織である。

組合同盟の出現と日本勞農總聯合の結成の全過程は更に又其の後に於ける、實際的鬪爭の結果は我々が正しかつた事を立證してゐる。磐城炭抗爭議其の他に於ける左翼の行動を見よ、更に又評議會の內部的動搖を見よ、更に又左翼の別働隊たる統一運動同盟の非行を見よ！　彼等はその『左翼的熱情』にも拘はらず客觀的に無産階級の陣營を攪亂し、大衆的指導精神を欠如せるものたることが明白である。他方又總同盟幹部の陰謀的組合破壞策を見よ、凡ゆる方面に於て行はれつゝある資本家との結託を見よ、彼等は當に反動の傀儡となりつゝある、而も兩者の存在は、今後尙續くであらう。

一つは革命に對する小ブルヂョア的幻想に立脚し、他は帝國主義的ブルジョアの分裂欺瞞策に合致する日本勞農總聯合の現下の任務は如上の兩分派に對する徹底的鬪爭を遂行すると同時に、區々に分散せる勞働組合の鬪爭力を、産業別並に地域的に擴充せしめ、その集中的統一組織に發展せしむることである。かくてのみ我國勞働階級並に農民を資本主義の桎梏より解放しうるものである。

我が組合同盟は、日本勞農總聯合の一構成要素として、既に決定せる方針の實現に飽くまで努力せむとするものである。總同盟並に評議會が過去に於いて犯したる失敗、即ち自己中心主義に陷ることなく、我國勞働運動の現狀に對する明確なる認識に基づき、日本勞農總聯合の確立充實に努力せむとするものである。

農會の無産階級化

全國各府縣に於ける農會役員の改選は、四月一日より系統的に、町村農會から郡、縣農會におよび、四月中に全部終了される豫定となつてゐるが、これまで農會が「行政廳の別働隊」として地主階級の機關であつた實情は、小作人の攻擊の的であつたことはいふまでもない。いやしくも「一反步以上の土地に於て耕作を行ふ者」は、强制的に加入せしめられ、その經費の負擔は地租割の外に、大地主、貧農平等の會員割を負擔せしめられ、しかもその經費は、國庫補助六十萬圓を加へて、大地主本位の「農業の改良發達」施設につかはれ、かく農業無産階級の意志を無視したる機關に向つて、小地主、小作農が「農會の無産階級化」を叫ぶのは當然といはねばならぬ。

山口縣の柚野村農會が、定員二十名の內婦人代議員十九名を出して、壓倒的勢力を示し、また群馬縣强戶の農會が、小作人側に占領されて、地主側では農林省へ脫會方を陳情するの滑稽を演ずるなど、しかも新潟縣下の村農會總代選擧に當つて、勞農黨、日本農民黨、日勞黨側の代表が好成績

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をもつて當選し、殊に北蒲原郡の如きは七百四十九名の總代の内四百五十五人を右三政黨側で占むるといふが如きは、これ決して一村一縣の問題でなくて、全國的に農會に大なる變化が起りつゝあることを示すものであるとみなければならない。

左の票は四月八日朝日本農民同盟（日本農民黨）の發表にかゝるものであつて、果して正確なものであるかどうかは斷言することが出來ないが、しかし兎に角それは、全國的に農會の中に組合の勢力の侵潤しつゝあることを可なりに如實に見ることが出來ると思はれる。

新潟縣下九郡に於て

公認候補者一、三六五名全部當選、中立組合との共同候補者六五名中二五名當選、合計一、三五一名當選

（右の外勞農黨系一四一名、日勞黨系八六名當選）

岩船郡

(イ)總代當選總數　四二三
(ロ)右の中自組合當選者　九六
(ハ)組合側半數以上を占めたる町村　三
(ニ)同上三分の一以上を占める町村　六

北蒲原郡

(イ)(以下前項と同じ)　七四九
(ロ)　四〇二
(ハ)　一八
(ニ)　五

右の外勞農黨三八名、日勞農一五名當選

中蒲原郡

(イ)　七〇三
(ロ)　一四一
(ハ)　四
(ニ)　六

右の外勞農黨六二名、日勞黨三六名當選

西蒲原郡

(イ)　七一八
(ロ)　一七二
(ハ)　一〇
(ニ)　三

右の外勞農黨八名當選

南蒲原郡

(イ)　四五三
(ロ)　四四
(ハ)　二
(ニ)　三

右の外勞農黨三三名、日勞黨三二名當選

三島郡

(イ)　五五四
(ロ)　八六
(ハ)　四
(ニ)　二

右の外日勞黨三名

古志郡

(イ)　五八五
(ロ)　四八
(ハ)　四
(ニ)　四

中頸城郡

(イ)　七〇九
(ロ)　一九三
(ハ)　七
(ニ)　四

佐渡郡

(イ)　五九七
(ロ)　二〇九
(ハ)　九
(ニ)　二

太平洋勞働組合會議

世界の資本主義に、唯だ一つの殘された市場支那は、今國民革命運動が進展して既

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に長江以南を平定統一し、國民革命軍の前衛便衣隊は既に北京に現はれ、遠くは奉天、ハルビンにまで出沒するに至り、支那軍閥の膽を寒からしめ、世界資本主義列國は各自、己の利益を確保せんがために、懐柔、強迫あらゆる術策を弄して共同して國民革命を中途に喰ひ止めんとすると同時に、唯一の餌支那市場を爭る彼等列國の相反する利害の矛盾は、正に第二回世界戰爭の危機をはらみつゝある。この時に當り太平洋を中心とした世界の無產階級は、支那革命の發祥地廣東に於て、五月一日を期して開催されんとしてゐる。

太平洋會議の最初の試みは、昨年七月濠洲勞働組合、特にニユー、サウスウエルスの勞働組合によつて提唱されたが、それは地理の關係並に時日の短少の爲めに實現されなかつた。けれども出席代表者はそれを翌年、即ち今年五月まで招集を延期し、全支那勞働組合大會の直後に、廣東に於て招集することを決議した。

抑もこの太平洋勞働會議は、一九二二年モスコーに開かれた東洋民族會議に芽を發し、赤色勞働組合國際協會の第二回大會の決議に應じたもので、提唱者の濠洲勞働組合がこれの實現に努力せしは勿論、支那勞働組合總聯合は、この大會の爲めに必要なる準備を用意し、全國勞働組合總聯合も又、太平洋諸國勞働組合の統一が、世界勞働運動の統一並に反帝國主義運動に及ぼす影響の重大なることを考慮して、大會に參列すべく決議してゐる。

しかして、これに參加する勞働組合は、イギリス、ロシア、オーストラリア、インド、アメリカ、ニユジランド、支那、日本カナダ、南米、ジヤバ、南亞、その他太平洋沿岸各國代表的勞働組合で、議題は

一、組織委員會報告
二、諸國代表の報告
三、太平洋問題並に國際勞働運動
四、極東に於ける勞働組合の情勢並に鬪爭の問題
五、移民問題、有色人勞働問題案
六、爭議問題、聯絡の自由等
七、太平洋諸國勞働組合事務局選擧

わが國勞働組合に於ても協議會を組織して、演說會その他の方法を以つて右大會を宣傳し、數度の協議を重ねて、遂に四月八日代表者の人選を爲し、二十日神戶を出發せんとしてゐる。その派遣代表者氏名は左の如く決定した。

都市公共事業
　大道憲二（東京市從業員組合）
一般產業
　野田律太（評議會）
農業
　前川正一（日本農民組合）
一般產業
　原澤武之助（關東木工組合）
鑛山勞働
　加藤勘十（日本坑夫組合）
纖維工業
　小林一雄（日毛誠和會）
金屬工業
　本澤兼次
一般產業
　鈴木源重（評議會）
交通勞働
　西森精一（東京市電自治會）
電氣工業
　兼島景毅（關西電氣組合）
一般產業
　難波英夫（俸給生活者組合）
交通勞働
　品川榮次（鐵道從業員組合）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

海上交通
龜井司（海上勞働組合）

ちなみに、右代表者は都合により變更されることがあるかも知れない。

（果然、代表者の全部は、官權の民にかゝつて、出發に際して檢束されてしまつた）

所謂學生事件の公判

昨年一月東京、大坂、京都、神戸の大學校、專門學校學生の所謂學生事件の三十八名にかゝる公判は、四月四日を第一日として續いて京都地方裁判所に於て開かれた。本事件は、先きには朝鮮共產黨、臺灣青年共產黨事件と同樣、內地に於ける治安維持法の最初の祭壇に舉げられた、世人の注目を惹いた事件である。

檢事は公訴事實を

被告學生等が大正十三年九月、東大學生控所で第一回全國學生聯合大會を開き東京、京都兩大學、專門學校の學生社會科學聯合會を創設して、關東、關西、東北に各聯合會を設けて聯絡をとり、更に大正十四年七月京大で第二回全國大會を開き、また被告中十數名は國體を變改し、國憲を紊亂する文書を著作印刷發行し、また被告石田英一郞は不敬の文詞を記載した行爲があつた

と述べてゐる。これに對する裁判長の各被告の尋問應答あつて、十二日被告を代表して是枝は辯明をした。

本事件全般に對する辯明と、學生運動の目的を述べるため全部を五項に分ち

（一）豫審決定書の內容（二）學生運動の本質とその目標及び過去の行動（三）學生運動の結果如何なる影響を社會に與へたか（四）學生運動に加へられた當局の壓迫と、その壓迫の性質並に壓迫の結果如何なる事態をかもしたか（五）豫審決定書は豫審判事及び檢事が、事實をねつ造して作製したものだから、これを裁判所に返還する。

と各項につき豫審決定書を否定し、學生社會科學運動が文部當局から壓迫されて來た歷史を陳べて、岡田文相を難じ、

學生社會科學研究會は、學生の大衆運動でなく、自覺せるものゝみの研究團體である。檢事は刑事政策によつて我々を得つたが、かゝる誤まれる刑事政策は却つて治安を亂すものである。

更らに、豫審決定書につき一々具體的例を舉げて反駁を加へた。かくて檢事は

「出版法については過般の大赦令により免訴を請求し、治安維持法については、その違反たるや明かなりと認め」

被告の中病氣欠席の三名を除き、三十六名に對し、左の通り何れも禁錮の求刑あり、執行猶豫の恩典は請求しないと述べた。

禁錮一年　太田遼一郞（京大）永井哲二（京大）武藤丸楠（京大）白谷忠三（京大）黑田久太（京大）古賀二男（京大）黑川健三（大阪外語）小崎正潔（關西學院）

禁錮一年半　大橋積（經濟學士）鈴木安藏（京大）逸見重雄（京大）鷲谷武二（京大）熊谷孝雄（京大）宮崎菊次（同志大）大浦梅夫（同志高）原田耕（大坂外語）蓮臺恒治（神戸高商）

禁錮二年　實川清之（日大）松本篤一（東大）野呂榮太郞（慶大）衣谷賀眞（慶大）秋笹正之輔（早高）橋本省三（京大）泉隆（京大 栗原佑（京大）藤井米三（經濟學士）內海洋一（同志大）上村正夫（京都無產者敎育協會役員）

禁錮二年半　淡德三郞（文學士京大大學院）岩田義道（京大）元男爵石田英一郞（京大）山崎雄次（京大）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

禁錮三年　是枝恭二（東大）　村尾薩男（東大）淸水平九郞（明治學院）後藤壽夫（東大）

これに對し、各辯護士は何れも無罪を主張したが宣告は近日中にある筈である。

郵司同友會の同盟罷業

海上勞働者の組合中、眞に勞働組合に近き組織をもつてゐるのは、日本司厨同盟があるばかりである。日本司厨同盟所屬郵司同友會は、會員大衆の熱烈なる要求の下に三月二日、郵船會社宛に八項の歎願書を提出し、同十八日これを拒絕せらるゝや、歎願を要求として提出し、早對ストライキを敢行した。

要求條項

一、退職手當金を左の通り增額せられたし
勤續滿二十五年に於ける支給額は
甲、五千圓
乙、四千圓
丙、參千圓とすること

二、年度手當金を增額せられたし
半期每に月給の一ケ月分以上支給のこと

三、雇入期間中病氣下船者に對しては、本人の入院中及治療後內地歸着日迄の給料を支給せられたし。
但し三等症及私鬪による負傷の場合は此の限りに非ず
以上屬員全般に適用すること

四、イ、司厨見習の最低給料を七拾圓とすること
ロ、給仕の最低給料を參拾圓とすること
ハ、料理人及ベカーの最低給料を四拾圓とすること

五、孟買甲公陀航路に司厨長を復活せられたし

六、貨物船乘組一等料理人を執職二等料理人として使用せざること

七、給仕の最高給料額を撤廢し、之に制限を附せず、且つ一、二、三等級別による給料の差格を廢止すること

八、公休日を制定すること
勤續滿一ケ年に對し十日以上の公休日をよゆること

ストライキを宣言し、司厨部員の總下船を命ずるや、橫濱、神戶、門司等に於ては各船總下船し、各地入港の船は每船下船してしまつた。そして日本海員組合に屬する甲、機部員をして「司厨同盟は我等に餓死を强制する階級道德を解せないものである」との滑稽漢を發せしめた。會社は各地のカフエー、料理店等より料理人をかり集め、或は支那人を雇入れ、又は裏切司厨部員を雇入れて、からうじて船舶を動してゐる。

かく郵司同友會が一度立ち上るや、全國の勞農各團體は極力之を援助してゐる。特に郵司同友會と姉妹組合、大阪商船同志會も又、友誼團體の危急を救はんとて、場合によつては積極的行動に移ることを宣言した。かゝる時に、セネバ勞働會議に行く所謂日本の勞働代表鈴木文治は、爭議團及びその他の團體から乘船しないやうにとの要求ありたに拘らず、裏切りものゝ司厨と共に神戶を出發したのは、如何にしても彼は勞働代表の名をかたるものと言はねばならぬ。

爭議勃發以來旣に一ケ月、會社側のあらゆる切り崩し策も功を奏せず、爭議は日を經つに從ひ、いよ〳〵深刻化し、爭議團側は益々結策を固めて居る。

因みに、郵船會社は、內外に十五の支店及び八ケ所の出張所を有し、代理店、取引店に至つては世界全土に有し、九十六隻、六十三万トンの汽船を、政府の命令航路六線、南洋廳命令航路一線、私役十線、其の他不定期線に運用し、半ケ年間に船客運賃六百七十萬圓餘、荷物運賃二千七百八拾萬圓餘を收得してゐる外、國庫より一ケ年に航路補助金百五拾萬圓を受け、其の他の收入と合せて計參千八百參拾五萬圓餘の收入をあげ、總資產約五億圓、年八分貳百五拾壹萬千貳百五拾圓の配當金を半ケ年に分配する世界三大汽船會社の一つである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯後記

「政治批判」の現段階再分析について

「政治批判」四月號の、野村兼行氏の「所謂現段階の再分析」について、此の欄を借りて、簡單に申上げる。その前半は林氏の誤謬そのまゝのものを再編整したものであり、後半は甚だ簡單過ぎる。全體的には、そのはしがきの如く「極めて不充分乍ら」の、筆者の謙遜なる言葉をもつて盡きる。そのうち、折角の努力ながら、私は經濟的悲觀論を唱えたことなく、政治鬪爭へ訴へる經濟鬪爭などは、私の關知せざるところである。暗闇の藪から、毒矢を射かけるので、ねらひが定まらなくてお困りでせう。（薄　茂人）

四月號「大衆」は發禁になつた。「大衆」は、初めて發禁を喰つたわけである。だが、内容については、可なり好評をはくしたことが嬉しかつた。

本號は編輯をかへてみた。

最初のレンメレの「獨逸に於ける大衆動員の方法」は、わが實際運動について、そして澤野氏の「極左的組織理論の一典型」と共に、非常によい參考となるであらう。中澤氏の「左翼勞働組合の基調」の全部を掲載することの出來なかつたことは惜しかつた。

現下の左翼陣營内の最も大きな問題は、なんといつても「現段階」解剖である。戰術も方策も、全部はこれから出發するから。成瀬、薄兩氏の論文は十分にこれに解答を與へてゐると信ずる。熱讀を乞ふ。

メーデーが來た！　われ等のメーデーか

メーデーは、またわれ等のお祭りの日ではない。それはあくまでも、われ等の鬪の日であらねばならぬ。そしてその鬪は、單に警官との小ぜりあいの年中行事の一日であつてはならない。それは戰線への統一の一歩であり、また來る一年間の鬪爭の第一日であらねばならぬ。プロレタリアの全員を動員して、ブルショアジーに肉迫せよ！

定價
○壹部參拾錢（送料壹錢）
○半年壹圓七拾錢（税共）
○一ヶ年參圓參拾錢（税共）

廣告料
○一等八拾圓
○二等五拾圓
○三等參拾圓
（但し、半頁はお斷り）

昭和二年四月廿八日印刷
昭和二年五月　一　日發行

編輯發行兼印刷人　黑田壽男
東京市芝區濱松町一ノ一五
發行所　大衆社（振替口座東京一六二三八番）

大賣捌　東京堂　北隆館　大東館　東海堂

ジェルミナール

ゾラの最大傑作!! 堺利彦譯

ゆる生命が四月の太陽の下に再生しつゝあつた。木の芽は延びつゝあつた。草はもえつゝあつた。坑夫生活の悲慘と痛苦の間に勞働者の自覺が芽ぐみつゝあつた。勞働運動が芽を吹きつゝあつた。人間の大群が土の中から頭を持あげつゝあつた。そこにブルジョアジーの亡びゆく運命と、新社會建設の理想と希望とが出現しつゝあつた。それが即ち此の雄大深酷、悲壯、痛烈を極めた大小説の内容であり、意義てある。

炭坑ストライキの藝術的描寫!!

特別廉價版三百二十頁
價・七十錢

▼ミュレン原著『なぜなの』荒畑寒村譯
挿圖數葉 百二十餘頁 價五十錢 税四錢

社會主義大意……堺 利彦（、10）
勞働と資本……マルクス（、15）
社會主義と進化論…パンネコク（、10）
利潤の出處……マルクス（、10）
社會主義學說大要…堺 利彦（、30）
ゴタ綱領批評……マルクス（、10）
パリコンミュン……堺 利彦（、10）

ロザの手紙……堺 眞柄（、10）
唯物史觀要約
資本蓄積傾向……（獨英和對照譯）（、30）
左翼小兒病……レーニン（、30）
ロシア革命十一月七日…堺 利彦（、10）
唯物的辯證法の話…堺 利彦（、10）

尚この他社會問題に關する内外の書籍の取次をします。月刊『赤い星』（價參錢）『名著だより』は無代贈呈但し貳錢切手封入のこと。代金引換は一切御斷りします。

東京麴町八ノ二〇 **無産社** 振替東京二四六二六

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義的建設に關するブハリンの二著

玆に刊行せんとするブハーリンの二著は、その書名の示すやうに、――但し前者は簡單に、後者は極めて詳細に、――現實的な『社會主義的建設』の問題を取扱つたものである。社會主義の現實の建設が果して可能であるか？　殊にそれが或る一國內において可能であり得るか？　それは如何なる過程を經て、如何なる方向に進展するものであるか？　如何にして新社會は、崩壞せる資本主義社會の廢墟とエレメンテの上に建設され始めてゐるか？　是等の諸問題がそこに取扱はれてゐる。そして著者ブハーリンは、周知の如く、ロシアにおいて一頭地を拔ける理論家であり、且つその同志と共にロシアにおける『社會主義的建設』の大事業を荷つて、眼まぐるしい活動を、日夜に續けてゐる實際政治家である。これらのことが、玆に提供する著作の全價値を規定する。

河上肇・大橋積　共譯

ブハーリン

勞農ロシヤの社會主義的建設

（印刷中）

內容

一　我々は貧困を克服し始めた、我々は地主及び大資本家なしにでも我が經濟を建設することが出來る

二　何故に我々はこれまで常に勝つことが出來たか？　勞働者農民の同盟

三　勞働階級と農民階級

（中略）

十三　經濟的不平等とその克服

十四　政治的不平等、その克服ならびに一般に政治の消滅

十五　政治上の正しい指導の確立と××黨

十六　世界革命とロシア社會主義ソヴィエット聯邦

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

弘文堂書房

京都市丸太町寺町東入
振替大阪一七〇五一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブハーリン

大田庄三・上村律太共譯

社會主義建設の諸問題

（分冊刊行）

第一冊

ロシア革命の特質と、ロシアにおける社會主義的建設の可能性

内容

一、問題の成立
二、世界資本主義の成熟
三、ロシアにおける社會主義の前提條件
四、ロシア革命の特質――ロシアにおける社會主義の建設
五、外來の危險に對する保證と社會主義發展の内在性
六、總括

近刊――マルキシストとしてのレーニン……………………ブハーリン原著

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治批判

五月號目次

一九二七年五月十二日發行　定價一部　貳拾錢　稅　貳錢

特別記事

所謂『田中大將事件』の根本資料

清瀨代議士は何故議會で締められたか？

「内容」一、所謂機密費、金塊、並に魔の金事件――二、所謂三百萬圓事件――三、機密費、金塊、魔の金事件と三百萬圓事件との關係

學生事件の法廷を顧みて…………細迫兼光

資料　全日本の無產大衆諸君に訴ふ――新内閣反對聲明書――財界恐慌に對する聲明書――田中首相の聲明に反對す――太平洋勞働組合會議支持代表者派遣に關する聲明書

政治批判社發行

インタナショナル

五月號目次

一九二七年五月一日發行　定價一部　貳拾錢　稅　壹錢

國際勞働組合當面の任務……………ロゾフスキー

サヴエート聯邦包圍政策

擴大しゆく對支非干涉運動

支那革命とイギリスのプロレタリヤ

支那革命の發展とその指導勢力……マルチノフ

二人の死（マックメナスとルーテンベルグ）

情報　支那より手をひけ――反帝國主義世界大會――アメリカ勞働者黨と組合運動

資料　日本無產政黨の對支聲明書

インタナショナル日誌

產業勞働調查所發行

京都市丸太町通寺町東　振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二　振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ジノヴィエフ

政治批判叢書第一篇

ロシヤ社會民主黨史

白谷忠三譯

五月十日刊行

定價貳圓
送料拾八錢
四六版假綴
約四一〇頁

一、ロシア社會民主黨は啻にロシア史に於てのみならず、一般に世界史に於ても亦偉人にして無類の意義を有する。

一、今日、國際勞働者運動の最良なる分子が吾が黨の發展過程——勝利に至る困難なる途上の一歩々々を追求し研究することは決して無駄に終ることではない。——以上、原著者序文より——

一、今や吾が無產階級は複雜にして困難なる政治鬪爭への步武を、刻一刻と進出せしめつゝある。この時に當り、十有五年の久しきに亘り果敢にして、執拗なる鬪爭を續け遂に光輝ある勝利を戰ひとつたロシア社會民主黨の歷史は、我無產階級に幾多の敎訓と示唆とをあたへるであらう。

一、譯文は極めて明快暢達、一讀卷をおく能はざらしむる。

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Taishu. (The Mass)
-- Monthly --
Published by Taishu-sha.
No. 15. Icho-me Hamamatsu-cho. Shibaku. Tokyo, Japan.

昭和二年四月二十八日印刷
昭和二年五月一日發行（每月一回一日發行）

レーニン

一九〇五年以後

村山藤四郎譯

五月十日刊行

定價八拾五錢
送料拾八錢
四六版假綴
約一七〇頁

政治批判叢書第二編

一、本書はレーニン選集第三輯にして内容左の如し、

内容——ブリギンのデューマのボイコットと××——ロシヤ革命とプロレタリアートの任務——ボイコットに就て——社會民主々義と選擧協定——デューマのボイコットに反對す——清算主義の清算——右翼清算派と左翼清算派——オトゾギズムの追隨者及辯護者の政綱に就て——宗敎に對する勞働者黨の態度に就て

一、比類なき困難と危險に充てる當時（一九〇五—一〇）の情勢——最初の革命の失敗及それに引續く暗黒なる反動の時代——のうちに、如何にレーニンは立派な指導者であり、卓れたる政治家であつたか？　本書は如實にそれを讀者に語るであらう。

一、今や我國無產階級は普選實施を契機として始めて新なる、政治戰線への第一歩を踏み出さんとしてゐる。この時にあたり、すでに二十世紀の初頭、同じ第一歩を踏み出した處のロシヤの無產階級の經驗を批判的に把握し、獨立的に檢討することは我國無產階級にとりて刻下の急務でなければならぬ。

一、右の意味に於て本書は誠に現在緊急必讀の書たるを信じて疑はない。

京都市丸太町通寺町東
振替大阪一七〇五番

弘文堂書房

東京市神田區淡路町二
振替東京五三九〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN